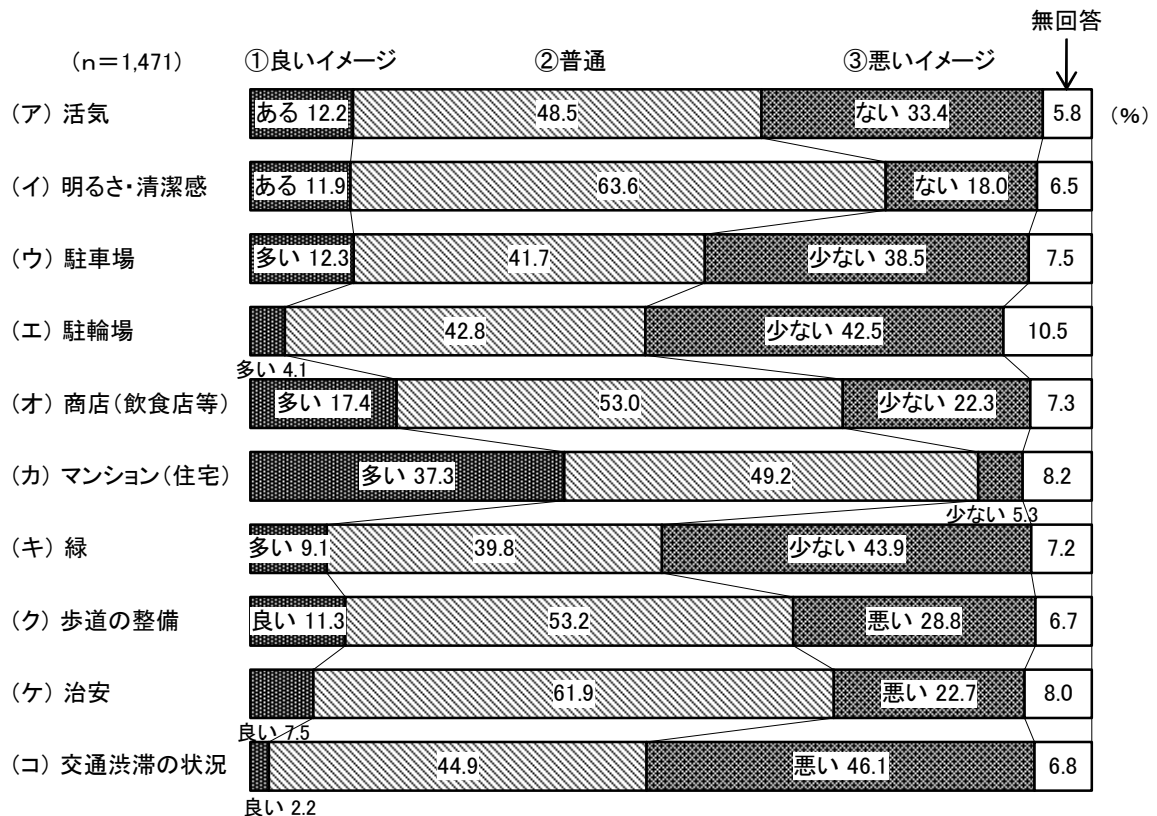


14 まちづくり

(1) 本厚木駅周辺のイメージ (A：問29)

問. 現在の本厚木駅周辺（中心市街地）のイメージについて、どう思いますか。
 （それぞれア～コについて、①～③の中から該当するものを1つ選び○で囲んでください）

図14-1-1 本厚木駅周辺のイメージ



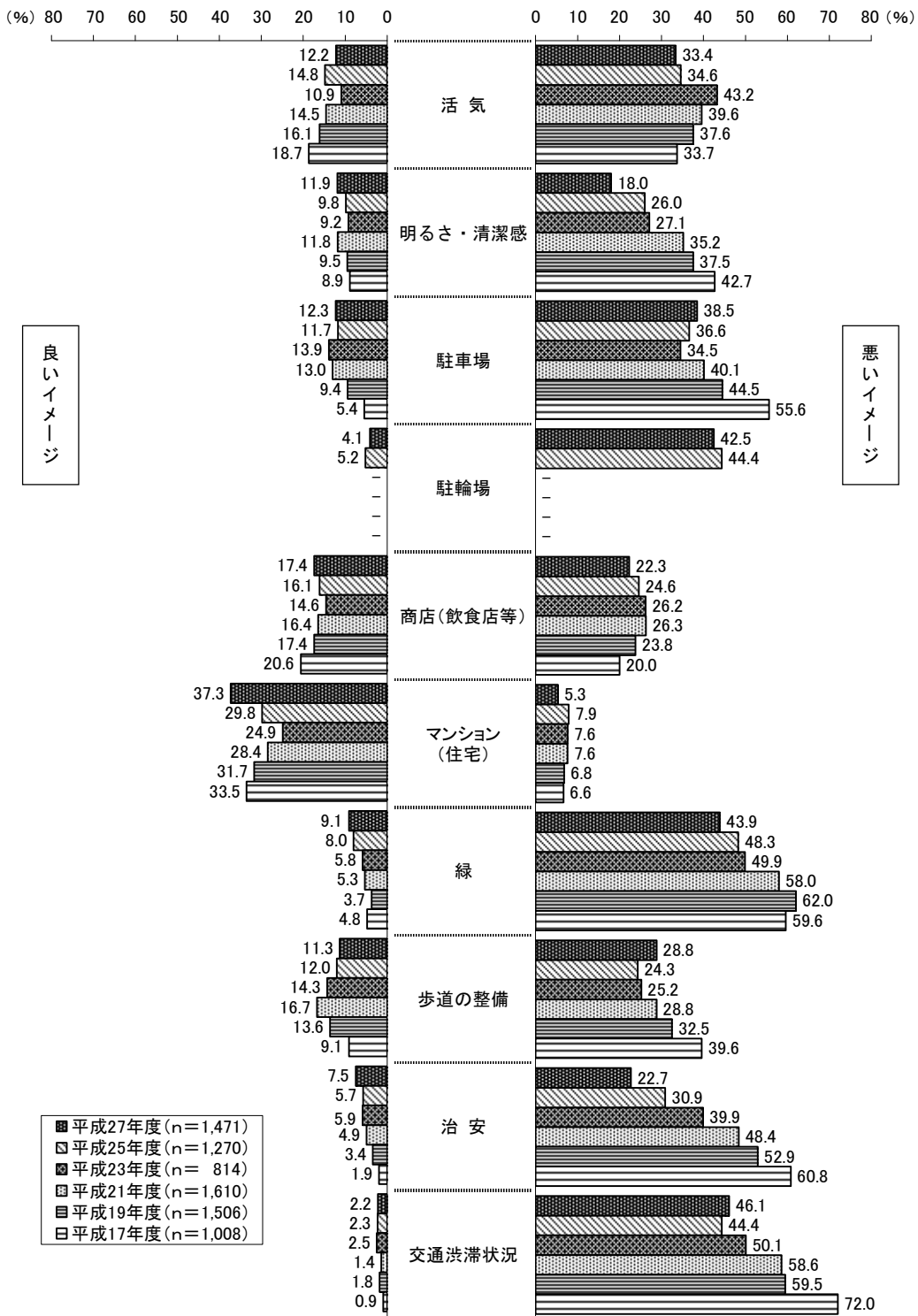
【全体】

本厚木駅周辺のイメージについて10項目（ア～コ）に分けて聞いたところ、良いイメージが最も高いのは「マンション（住宅）」（37.3%）で4割近くとなっており、次いで「商店（飲食店等）」（17.4%）となっている。一方、悪いイメージが最も高いのは「交通渋滞の状況」（46.1%）で5割近くとなっており、次いで「緑」（43.9%）、「駐輪場」（42.5%）となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、良いイメージでは、「マンション（住宅）」（37.3%）は前回調査（29.8%）より7.5ポイント増加し、平成23年度調査（24.9%）以降増加傾向にある。一方、悪いイメージでは、「明るさ・清潔感」と「治安」が平成17年度調査以降減少傾向にあり、「緑」も平成19年度調査以降減少傾向にある。

図14-1-2 本厚木駅周辺のイメージ経年変化



（注）平成25年度調査以降、「駐輪場」を追加している。

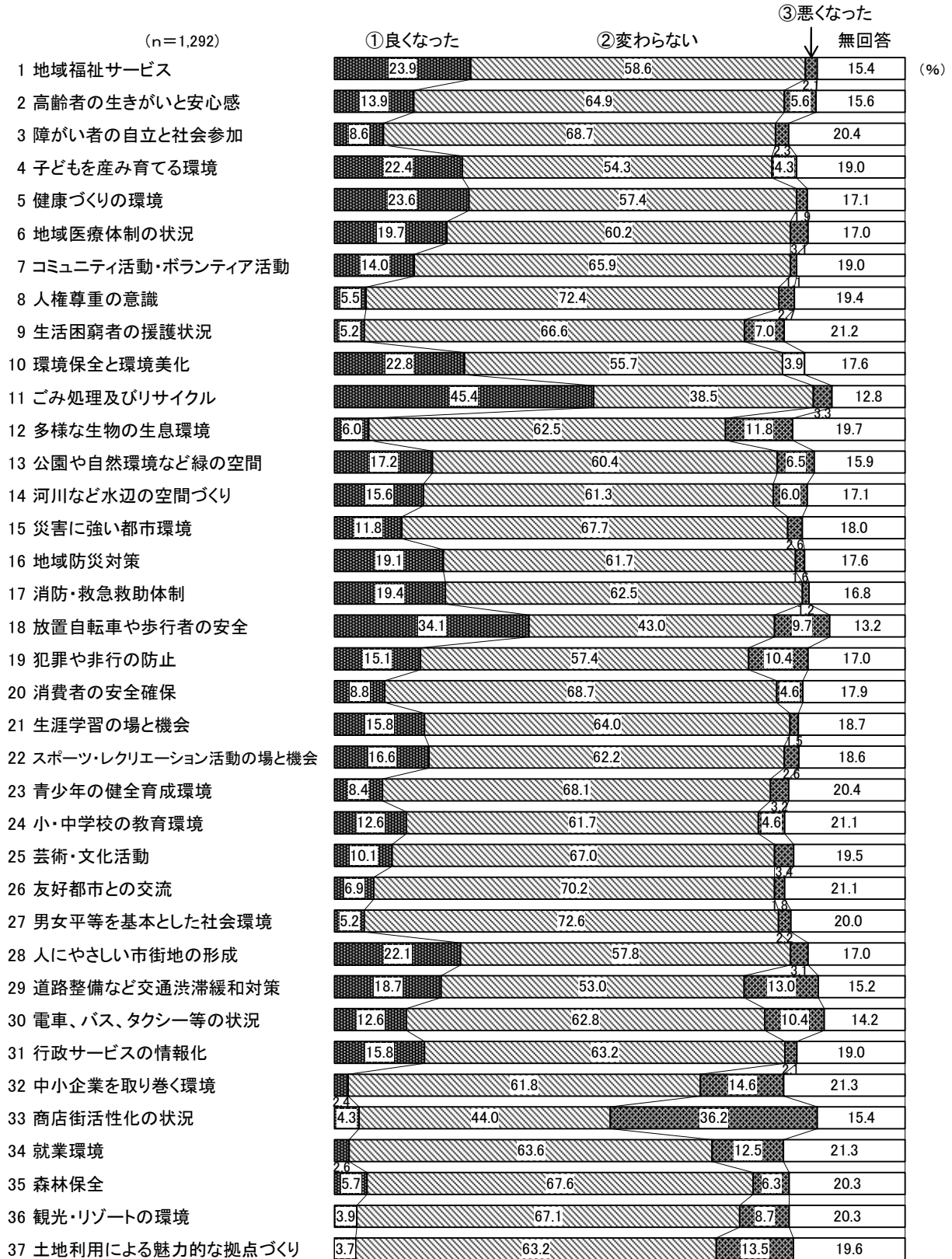
(2) まちづくり全般の変化 (A:問32)

問. まちづくり全般の変化について、どう思いますか。(5年前と比べ)

(それぞれ1~37について、①~③の中から該当するものを1つ選び○印を記入してください。)

(転入されて5年未満の方は、次問に進む)

図14-2-1 まちづくり全般の変化



【全体】

厚木市内に5年以上住んでいると答えた1,292人に、5年前と比べたまちづくり全般の変化について37項目に分けて聞いたところ、「良くなった」が最も高いのは「11 ごみ処理及びリサイクル」（45.4%）で4割半ばとなっており、次いで「18 放置自転車や歩行者の安全」（34.1%）、「1 地域福祉サービス」（23.9%）、「5 健康づくりの環境」（23.6%）、「10 環境保全と環境美化」（22.8%）となっている。

一方、「悪くなった」が最も高いのは「33 商店街活性化の状況」（36.2%）で4割近くとなっており、次いで「32 中小企業を取り巻く環境」（14.6%）、「37 土地利用による魅力的な拠点づくり」（13.5%）、「29 道路整備など交通渋滞緩和対策」（13.0%）、「34 就業環境」（12.5%）となっている。

また、「変わらない」は「27 男女平等を基本とした社会環境」（72.6%）、「8 人権尊重の意識」（72.4%）、「26 友好都市との交流」（70.2%）の3項目で7割台と高くなっている。

表14-2-1 まちづくり全般の変化－良くなったもの、変わらないもの、悪くなったもの（上位5項目）

(n=1,292)				(%)					
順位	良くなった		変わらない		悪くなった				
1	11	ごみ処理及びリサイクル	45.4	27	男女平等を基本とした社会環境	72.6	33	商店街活性化の状況	36.2
2	18	放置自転車や歩行者の安全	34.1	8	人権尊重の意識	72.4	32	中小企業を取り巻く環境	14.6
3	1	地域福祉サービス	23.9	26	友好都市との交流	70.2	37	土地利用による魅力的な拠点づくり	13.5
4	5	健康づくりの環境	23.6	3	障がい者の自立と社会参加 ／20 消費者の安全確保 (同率)	68.7	29	道路整備など交通渋滞緩和対策	13.0
5	10	環境保全と環境美化	22.8				34	就業環境	12.5

【経年変化】（表は次ページにあり）

「良くなった」の経年による変化を見ると、上位2項目は前回調査と同じ順位となっているが、「ごみ処理及びリサイクル」（45.4%）は前回調査（56.3%）より10.9ポイント減少している。また、「環境保全と環境美化」（22.8%）は前回調査（27.1%）より4.3ポイント減少し、順位も前回調査の第3位から今回調査では第5位となっている。

「悪くなった」の経年による変化を見ると、「商店街活性化の状況」（36.2%）は平成19年度調査以降第1位となっているが、前回調査（43.4%）より7.2ポイント減少している。また、「就業環境」（12.5%）は前回調査（24.3%）より11.8ポイント減少し、順位も平成21年度調査から前回調査までは第2位であったが、今回調査では第5位となっている。

表14-2-2 まちづくり全般の変化—経年変化/良くなったもの(上位5項目)

(%)

順位	平成27年度 (n=1,292)		平成25年度 (n=1,111)		平成23年度 (n=699)		平成21年度 (n=1,610)		平成19年度 (n=1,506)		平成17年度 (n=1,008)	
1	11 ごみ処理及 びリサイクル	45.4	ごみ処理及 びリサイクル	56.3	ごみ処理及 びリサイクル	67.5	ごみ処理及 びリサイクル	51.5	ごみ処理及 びリサイクル	46.7	ごみ処理及 びリサイクル	53.1
2	18 放置自転車 や歩行者の 安全	34.1	放置自転車 や歩行者の 安全	32.8	環境保全と 環境美化	34.8	人にやさしい 市街地の形 成(ハリアフ リ等)	33.3	人にやさしい 市街地の形 成(ハリアフ リ等)	31.3	地域福祉 サービス	27.6
3	1 地域福祉 サービス	23.9	環境保全と 環境美化	27.1	放置自転車 や歩行者の 安全	32.6	環境保全と 環境美化	31.2	放置自転車 や歩行者の 安全	28.8	消防・救急救 助体制	27.0
4	5 健康づくり の環境	23.6	人にやさしい 市街地の形 成	26.0	人にやさしい 市街地の形 成	30.6	放置自転車 や歩行者の 安全	29.6	環境保全と 環境美化	25.6	人にやさしい 市街地の形 成(ハリアフ リ等)	26.5
5	10 環境保全 と環境美化	22.8	地域福祉 サービス	24.4	子どもを産み 育てる環境	28.0	公園や自然 環境など緑の 空間	27.5	公園や自然 環境など緑の 空間	24.8	地域防災 対策	24.0

表14-2-3 まちづくり全般の変化—経年変化/悪くなったもの(上位5項目)

(%)

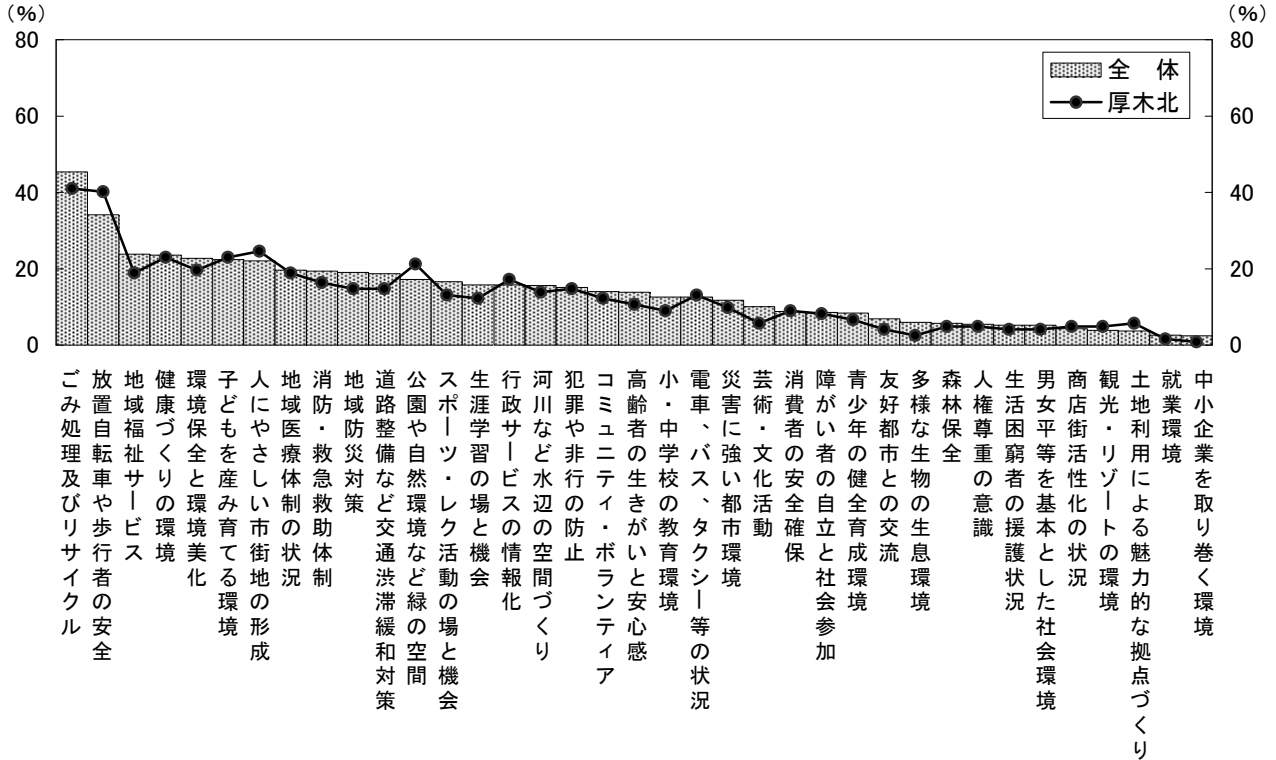
順位	平成27年度 (n=1,292)		平成25年度 (n=1,111)		平成23年度 (n=699)		平成21年度 (n=1,610)		平成19年度 (n=1,506)		平成17年度 (n=1,008)	
1	33 商店街活性 化の状況	36.2	商店街活性 化の状況	43.4	商店街活性 化の状況	48.8	商店街活性 化の状況	43.3	商店街活性 化の状況	44.2	犯罪や非行 の防止	54.2
2	32 中小企業を 取り巻く環境	14.6	就業環境	24.3	就業環境	37.9	就業環境	36.8	犯罪や非行 の防止	36.4	商店街活性 化の状況	48.0
3	37 土地利用に よる魅力的な 拠点づくり	13.5	中小企業を 取り巻く環境	19.5	中小企業を 取り巻く環境	28.3	中小企業を 取り巻く環境	27.5	地域医療体 制の状況/ 多様な生物 の生息環境 (同率)	26.2	放置自転車 や歩行者の 安全	33.3
4	29 道路整備な ど交通渋滞 緩和対策	13.0	犯罪や非行 の防止	15.9	犯罪や非行 の防止	21.2	犯罪や非行 の防止	27.2			道路整備など 交通渋滞緩和 対策	32.9
5	34 就業環境	12.5	多様な生物 の生息環境	15.8	多様な生物 の生息環境	17.0	多様な生物 の生息環境	22.8	子どもを産み 育てる環境	25.5	就業環境	29.7

【地区ごとの傾向】

〔厚木北地区〕

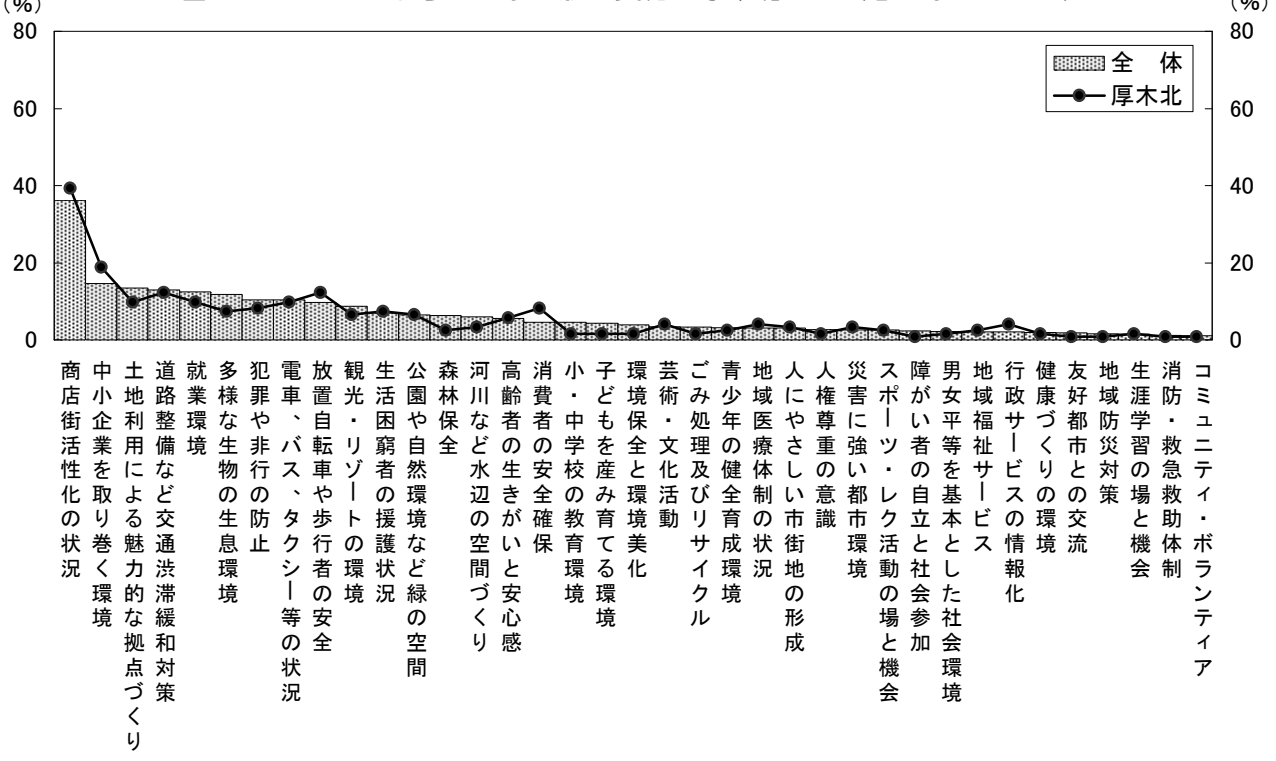
「良くなったもの」では、全体と比べて、「放置自転車や歩行者の安全」が高くなっている。一方、「地域福祉サービス」が低くなっている。

図14-2-2 まちづくり全般の変化－厚木北地区（良くなったもの）



「悪くなったもの」では、全体と比べて、「商店街活性化の状況」と「中小企業を取り巻く環境」がやや高くなっている。一方、「多様な生物の生息環境」と「土地利用による魅力的な拠点づくり」がやや低くなっている。

図14-2-3 まちづくり全般の変化－厚木北地区（悪くなったもの）

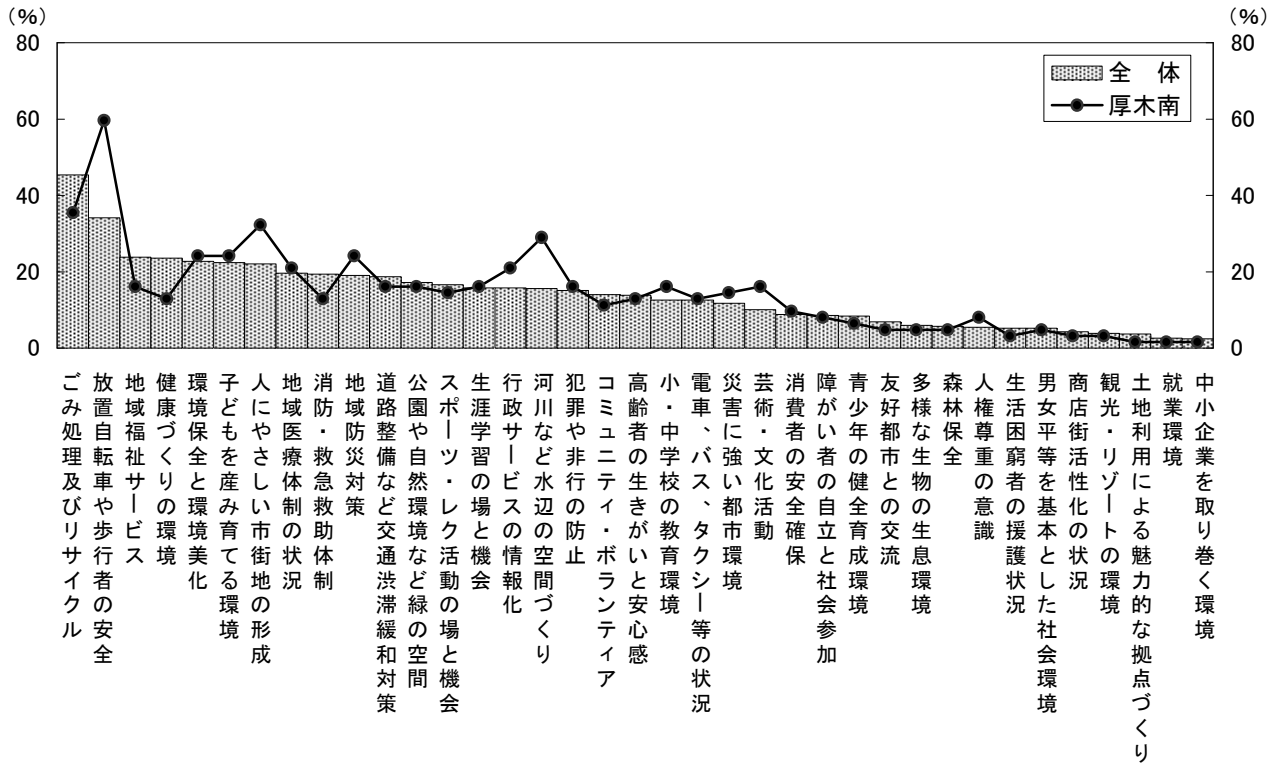


【地区ごとの傾向】

〔厚木南地区〕

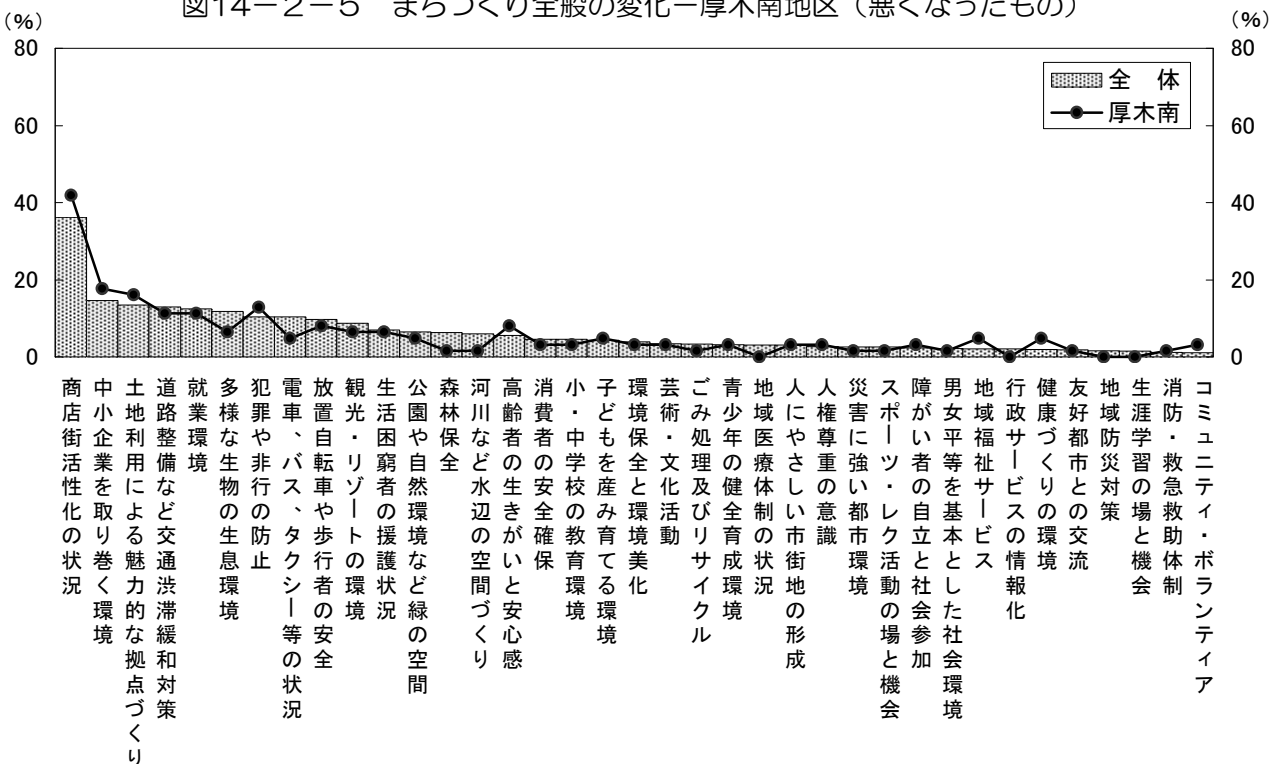
「良くなったもの」では、全体と比べて、「放置自転車や歩行者の安全」、「河川など水辺の空間づくり」、「人にやさしい市街地の形成」が特に高くなっている。一方、「健康づくりの環境」が特に低くなっている。

図14-2-4 まちづくり全般の変化－厚木南地区（良くなったもの）



「悪くなったもの」では、全体と比べて、「商店街活性化の状況」が高くなっている。一方、「電車、バス、タクシー等の状況」と「多様な生物の生息環境」が低くなっている。

図14-2-5 まちづくり全般の変化－厚木南地区（悪くなったもの）

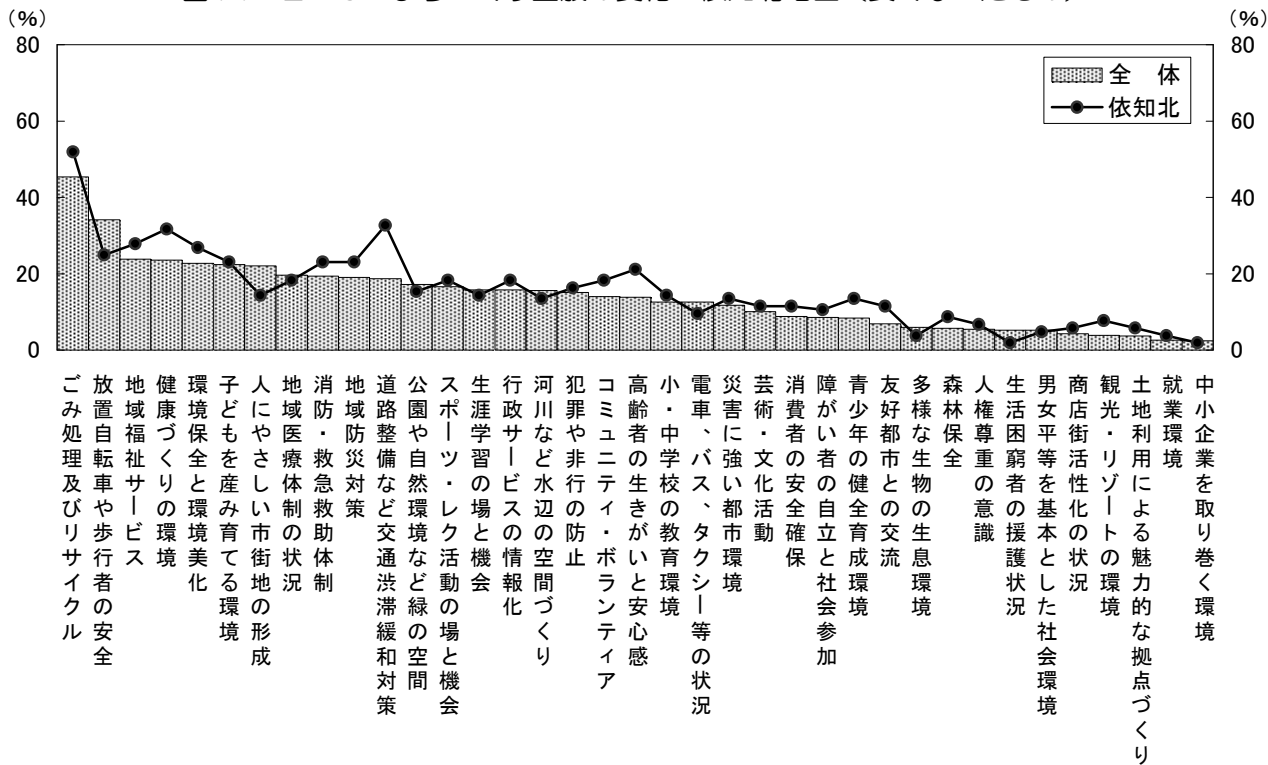


【地区ごとの傾向】

〔依知北地区〕

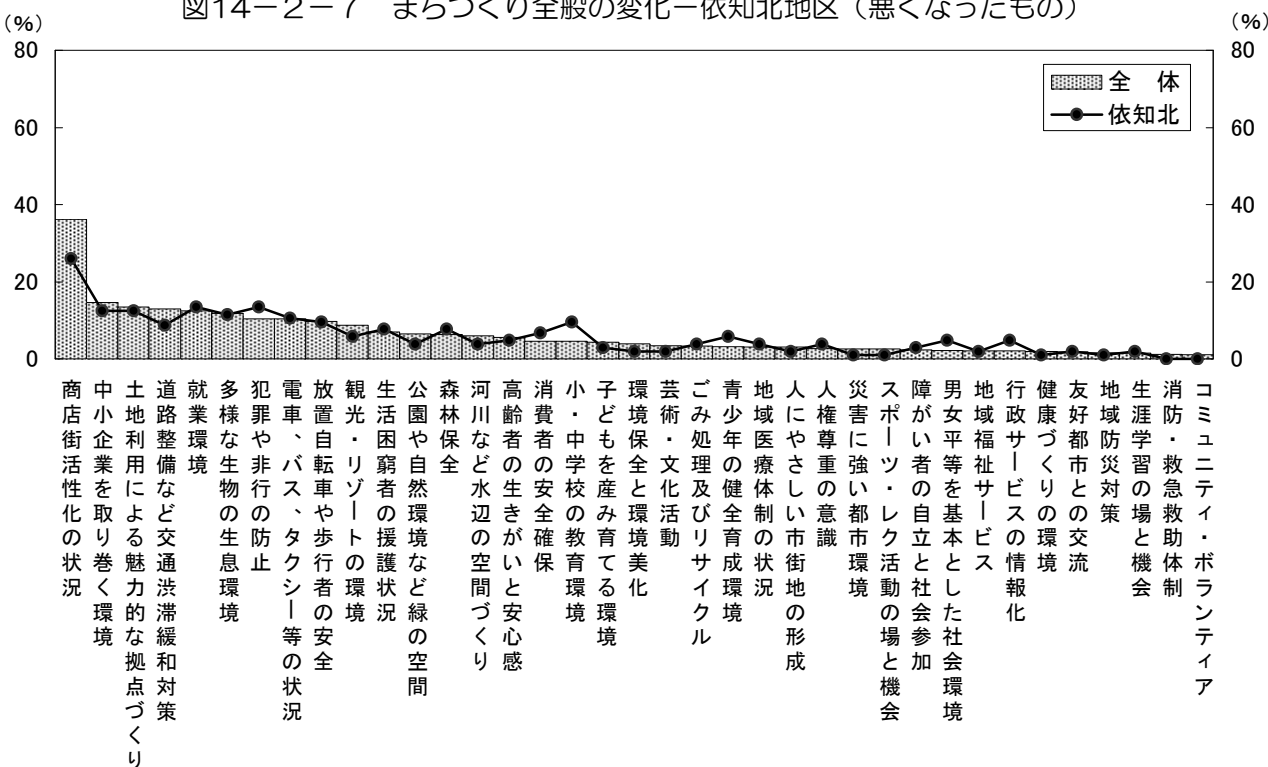
「良くなったもの」では、全体と比べて、「道路整備など交通渋滞緩和対策」が特に高くなっている。一方、「放置自転車や歩行者の安全」と「人にやさしい市街地の形成」が低くなっている。

図14-2-6 まちづくり全般の変化—依知北地区（良くなったもの）



「悪くなったもの」では、全体と比べて、「小・中学校の教育環境」が高くなっている。一方、「商店街活性化の状況」が特に低くなっている。

図14-2-7 まちづくり全般の変化—依知北地区（悪くなったもの）

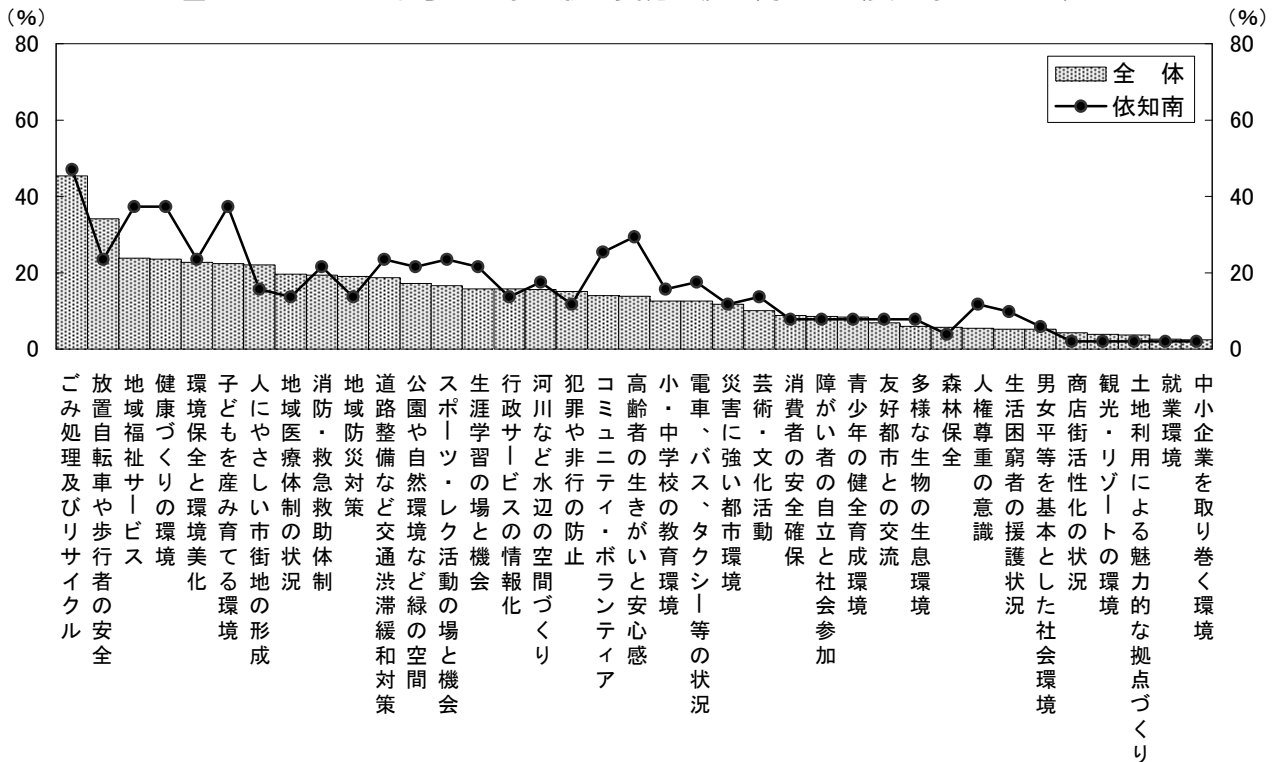


【地区ごとの傾向】

〔依知南地区〕

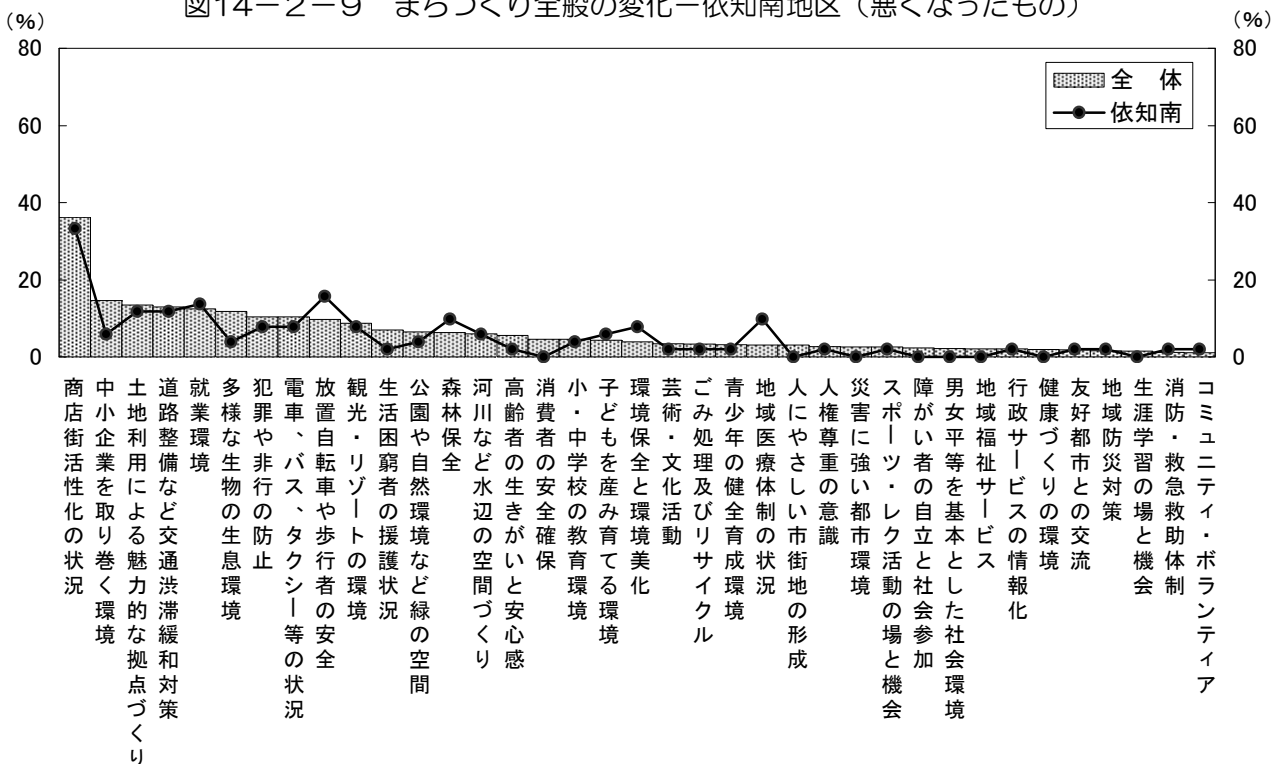
「良くなったもの」では、全体と比べて、「高齢者の生きがいと安心感」、「子どもを産み育てる環境」、「健康づくりの環境」、「地域福祉サービス」、「コミュニティ活動・ボランティア活動」が特に高くなっている。一方、「放置自転車や歩行者の安全」が特に低くなっている。

図14-2-8 まちづくり全般の変化—依知南地区（良くなったもの）



「悪くなったもの」では、全体と比べて、「地域医療体制の状況」と「放置自転車や歩行者の安全」が高くなっている。一方、「中小企業を取り巻く環境」、「多様な生物の生息環境」、「生活困窮者の援護状況」が低くなっている。

図14-2-9 まちづくり全般の変化—依知南地区（悪くなったもの）

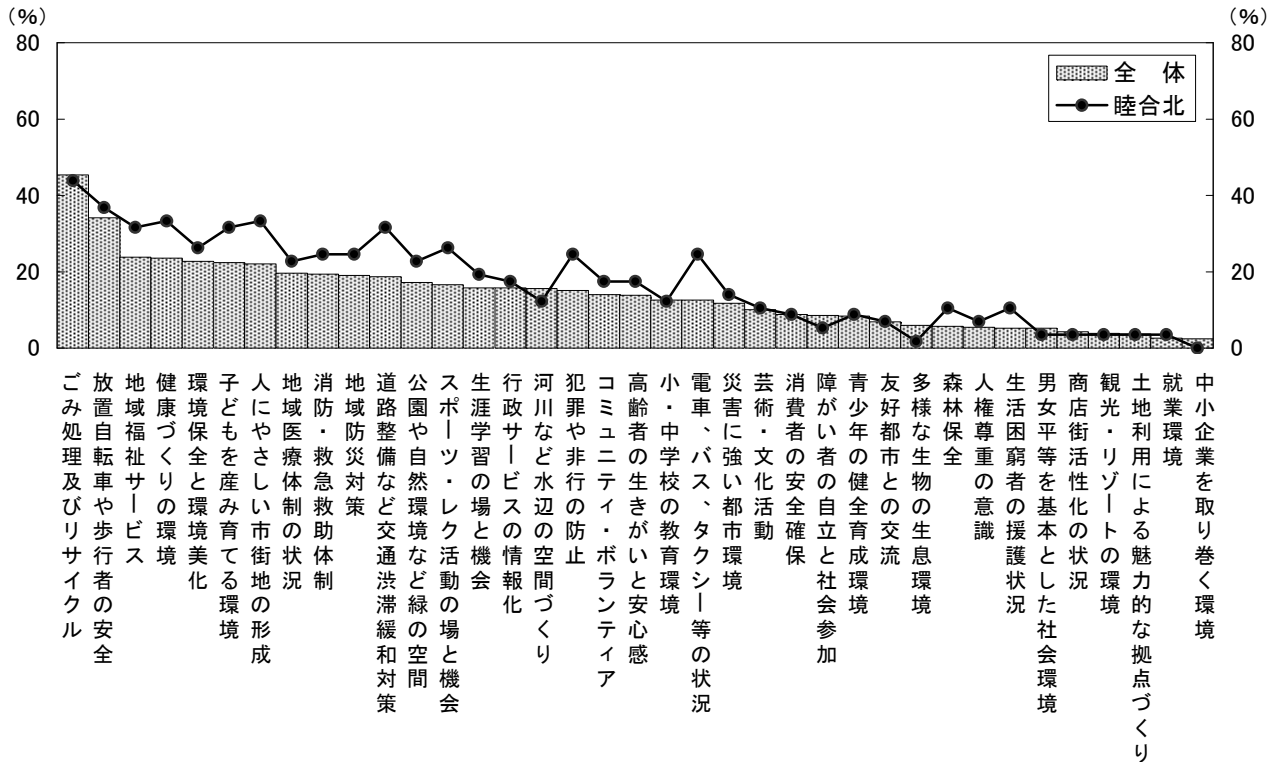


【地区ごとの傾向】

〔睦合北地区〕

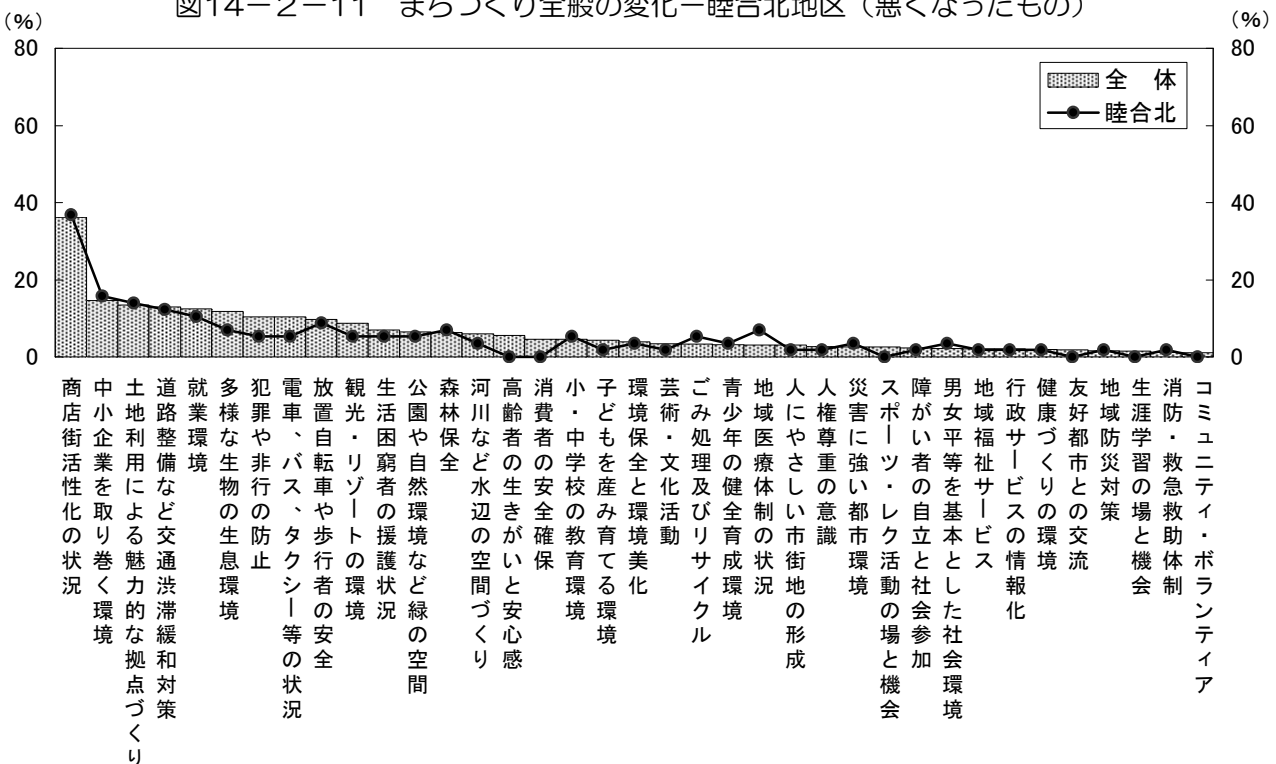
「良くなったもの」では、全体と比べて、「道路整備など交通渋滞緩和対策」、「電車、バス、タクシー等の状況」、「人にやさしい市街地の形成」が高くなっている。一方、「多様な生物の生息環境」がやや低くなっている。

図14-2-10 まちづくり全般の変化—睦合北地区（良くなったもの）



「悪くなったもの」では、全体と比べて、「地域医療体制の状況」がやや高くなっている。一方、「犯罪や非行の防止」と「電車、バス、タクシー等の状況」が低くなっている。

図14-2-11 まちづくり全般の変化—睦合北地区（悪くなったもの）

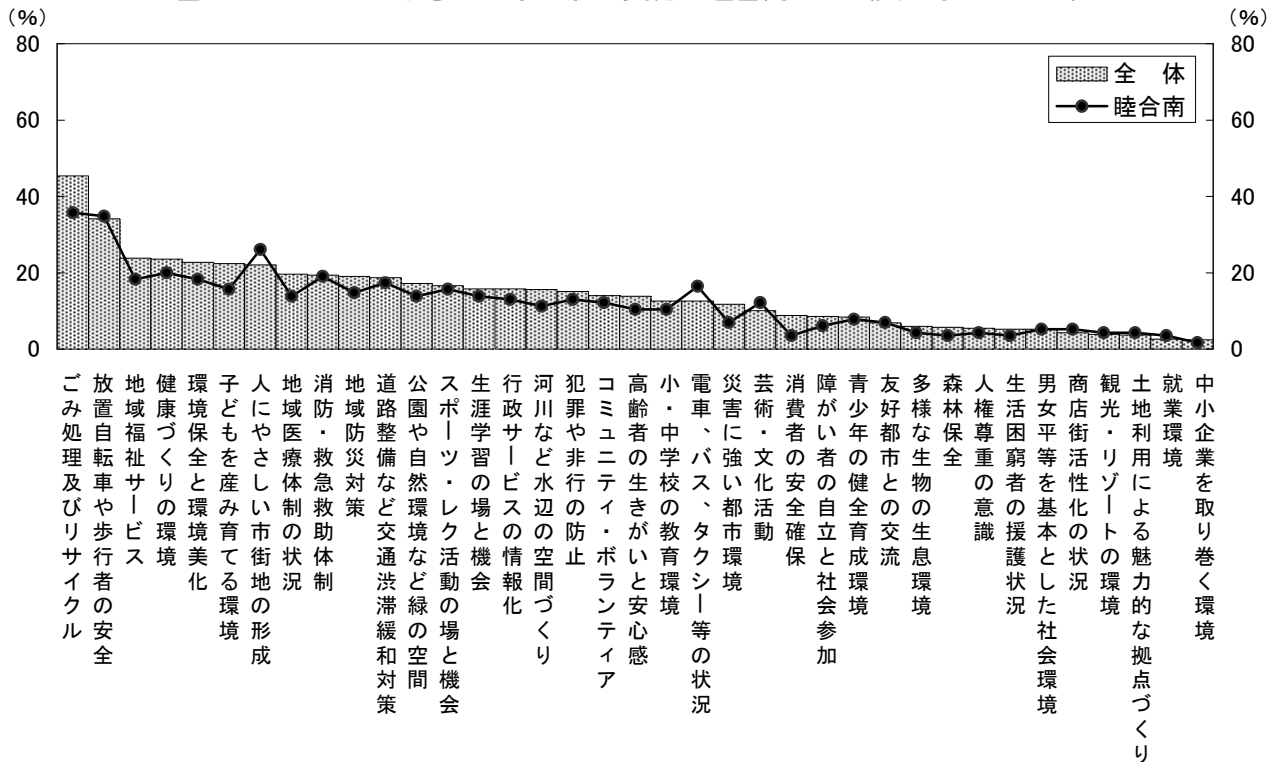


【地区ごとの傾向】

〔睦合南地区〕

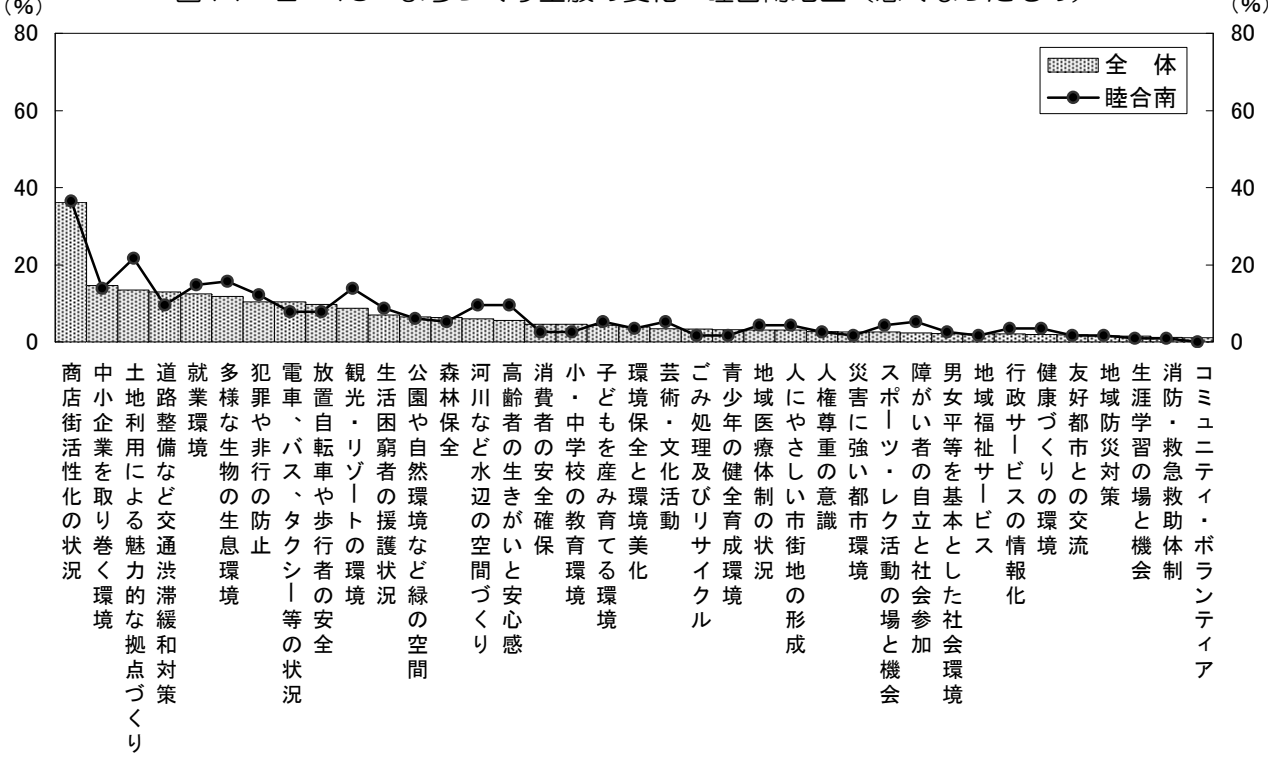
「良くなったもの」では、全体と比べて、「人にやさしい市街地の形成」と「電車、バス、タクシー等の状況」がやや高くなっている。一方、「ごみ処理及びリサイクル」、「子どもを産み育てる環境」、「地域医療体制の状況」、「地域福祉サービス」、「消費者の安全確保」が低くなっている。

図14-2-12 まちづくり全般の変化－睦合南地区（良くなったもの）



「悪くなったもの」では、全体と比べて、「土地利用による魅力的な拠点づくり」と「観光・リゾートの環境」が高くなっている。一方、「道路整備など交通渋滞緩和対策」がやや低くなっている。

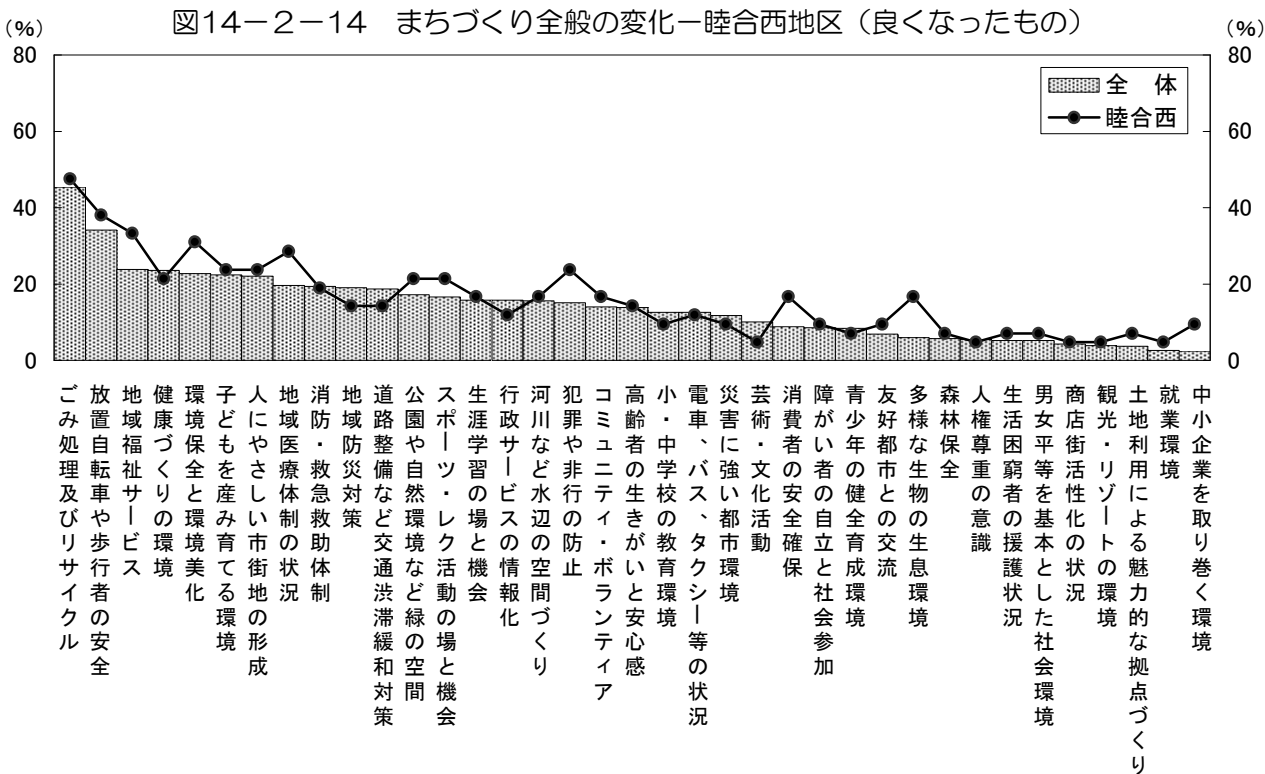
図14-2-13 まちづくり全般の変化－睦合南地区（悪くなったもの）



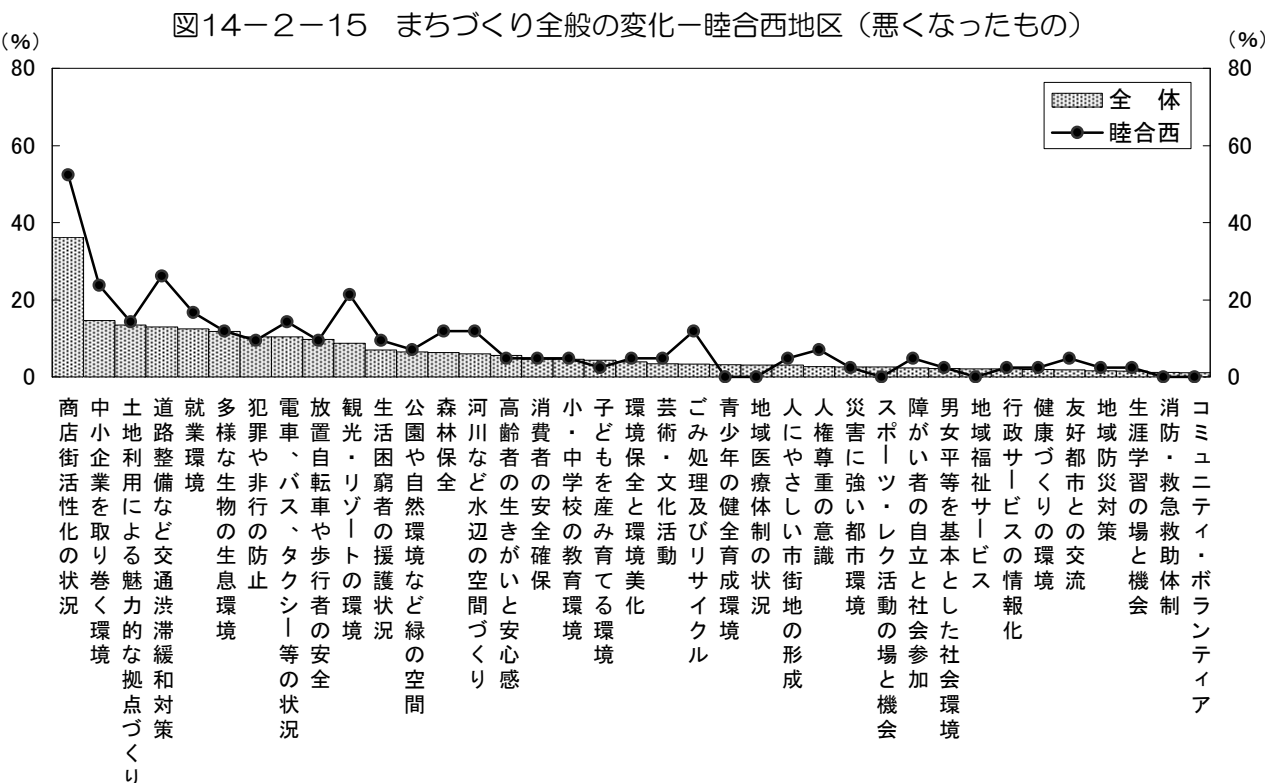
【地区ごとの傾向】

〔睦合西地区〕

「良くなったもの」では、全体と比べて、「環境保全と環境美化」、「地域医療体制の状況」、「犯罪や非行の防止」、「多様な生物の生息環境」が特に高くなっている。一方、「芸術・文化活動」が低くなっている。



「悪くなったもの」では、全体と比べて、「商店街活性化の状況」、「道路整備など交通渋滞緩和対策」、「観光・リゾートの環境」、「ごみ処理及びリサイクル」が特に高くなっている。一方、「青少年の健全育成環境」、「地域医療体制の状況」、「スポーツ・レク活動の場と機会」、「地域福祉サービス」がやや低くなっている。

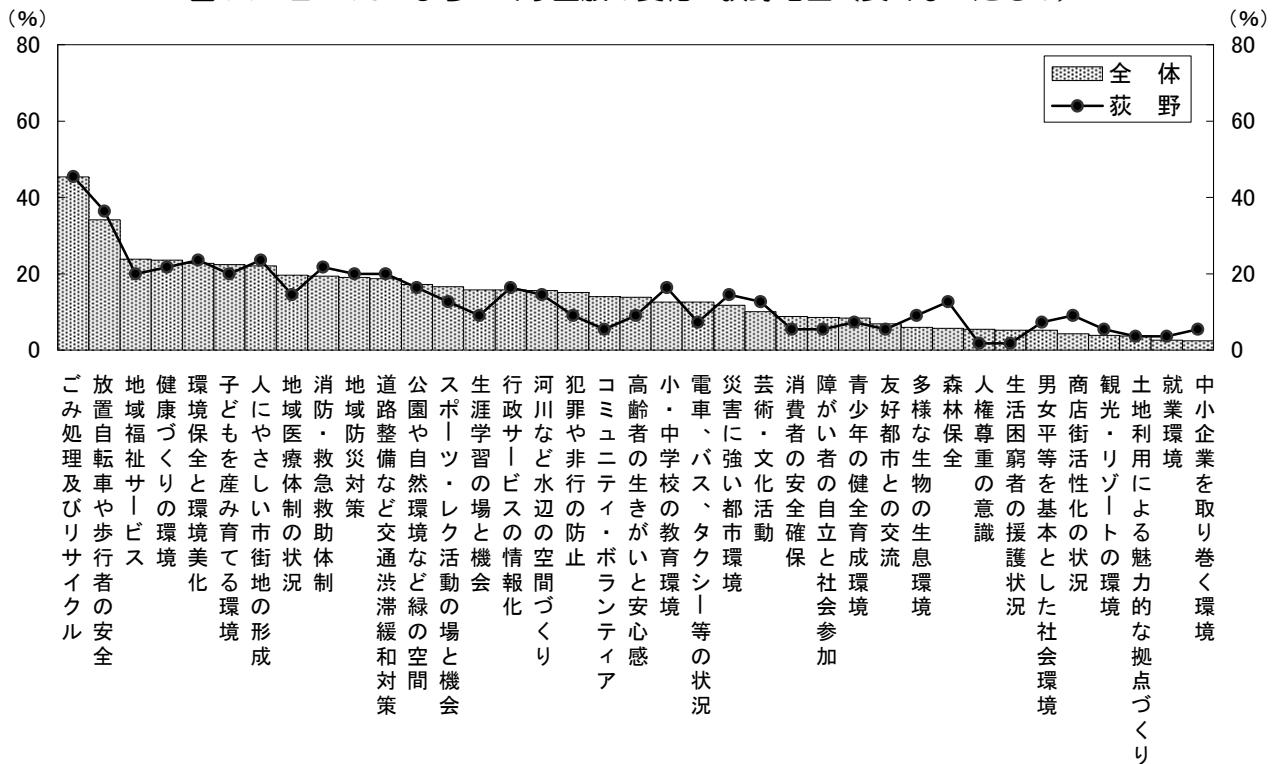


【地区ごとの傾向】

〔荻野地区〕

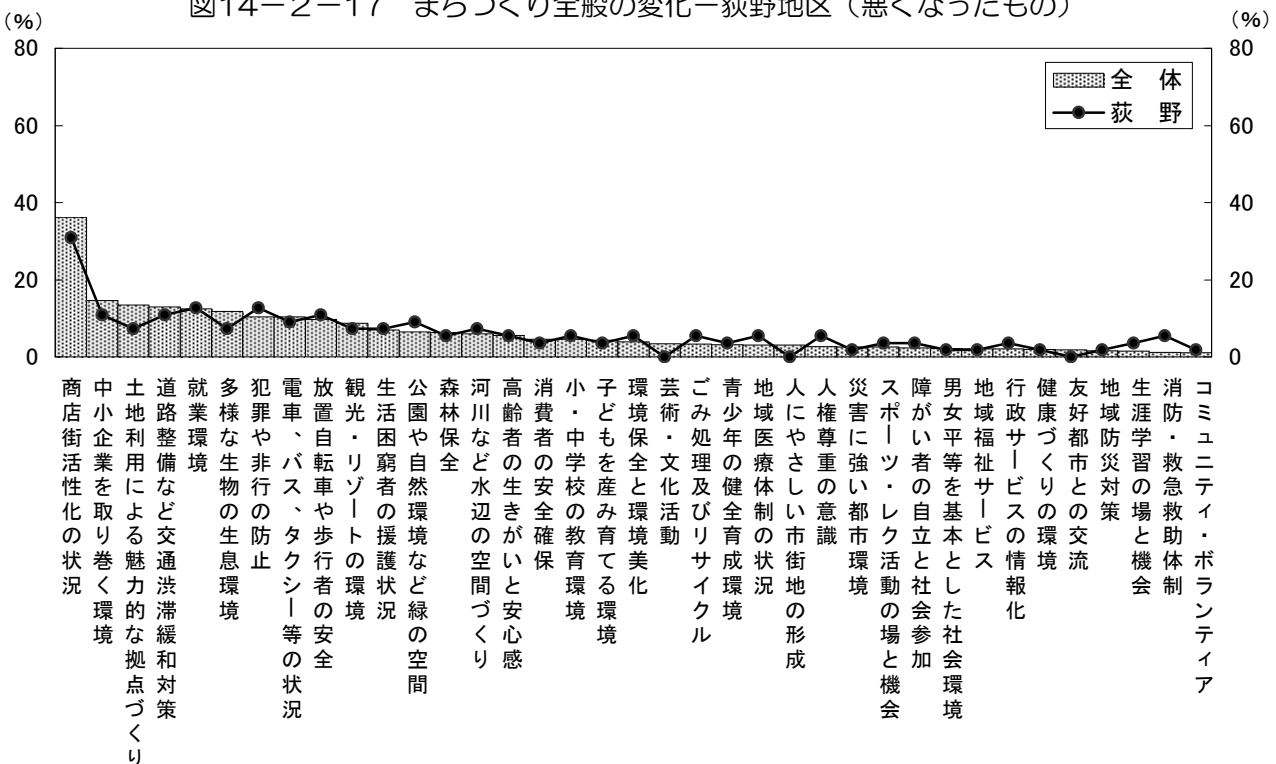
「良くなったもの」では、全体と比べて、「森林保全」が高くなっている。一方、「コミュニティ活動・ボランティア活動」、「生涯学習の場と機会」、「犯罪や非行の防止」、「電車、バス、タクシー等の状況」、「地域医療体制の状況」が低くなっている。

図14-2-16 まちづくり全般の変化－荻野地区（良くなったもの）



「悪くなったもの」では、全体と比べて、「消防・救急救助体制」がやや高くなっている。一方、「土地利用による魅力的な拠点づくり」と「商店街活性化の状況」が低くなっている。

図14-2-17 まちづくり全般の変化－荻野地区（悪くなったもの）

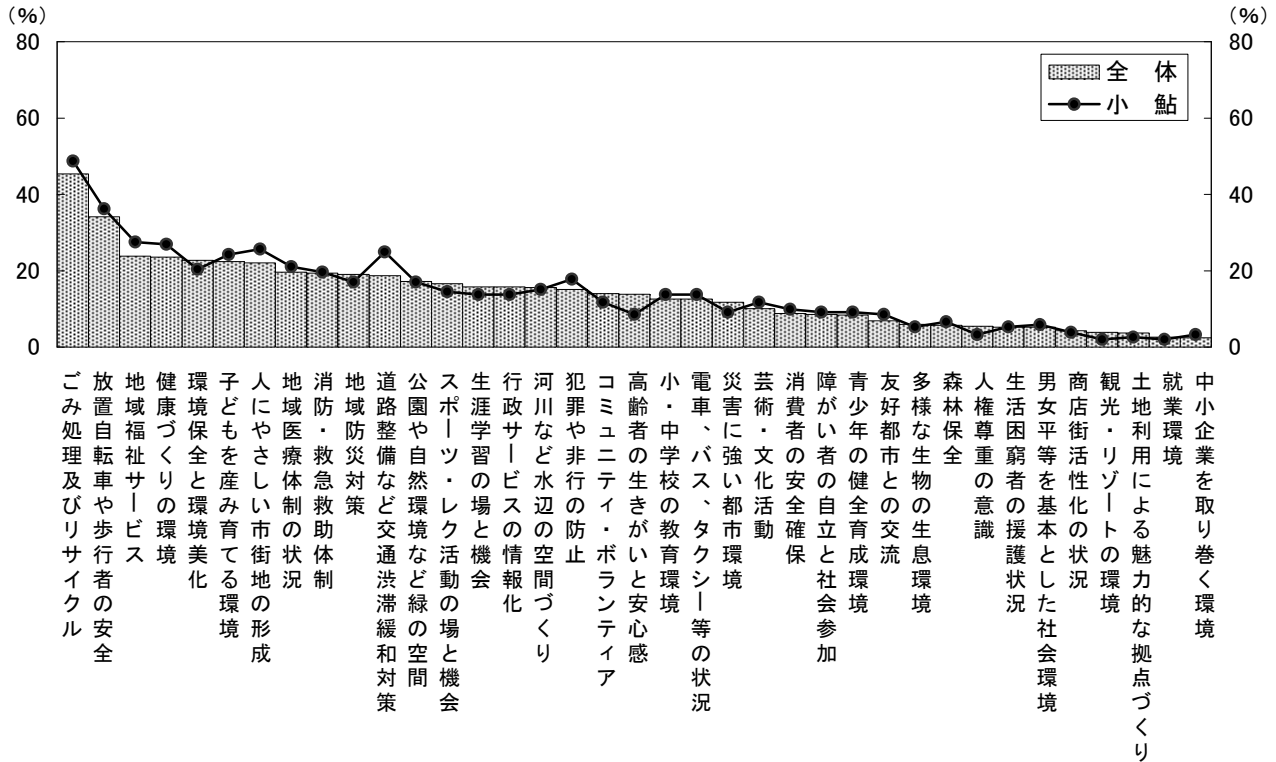


【地区ごとの傾向】

〔小鮎地区〕

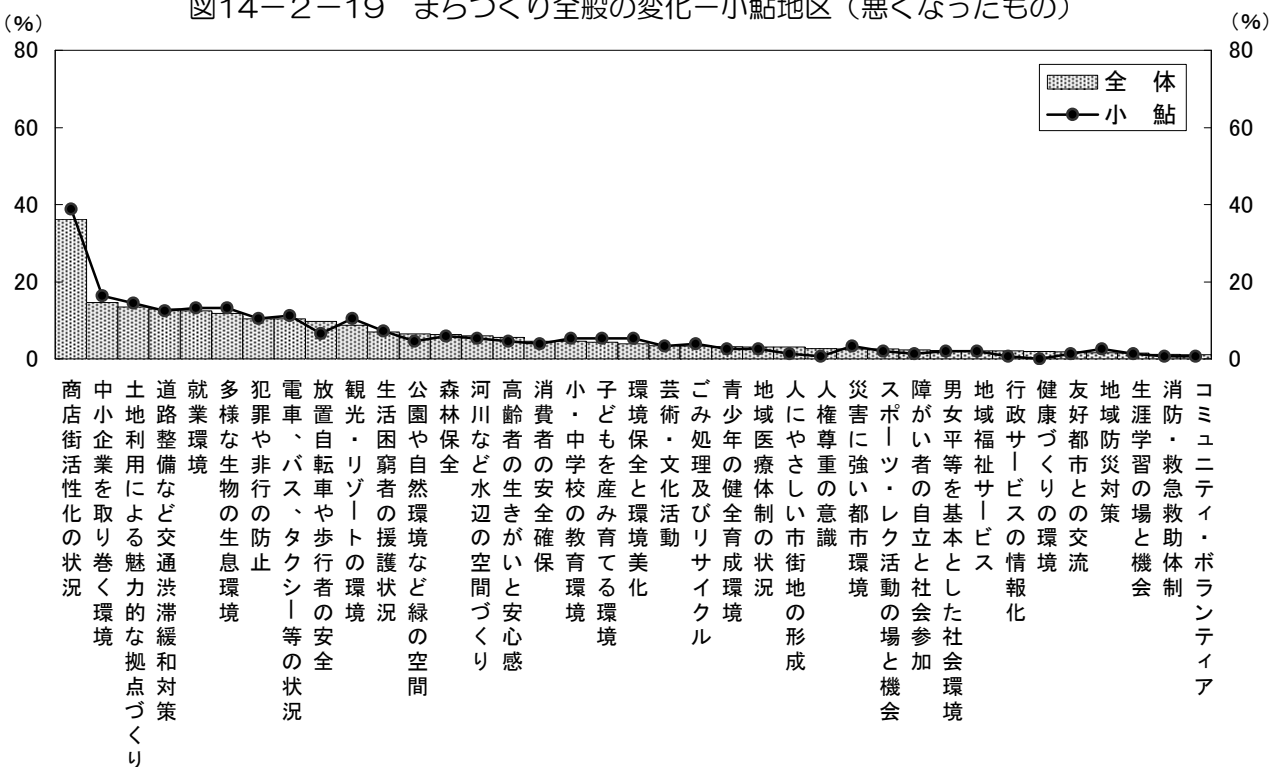
「良くなったもの」では、全体と比べて、「道路整備など交通渋滞緩和対策」が高くなっている。一方、「高齢者の生きがいと安心感」が低くなっている。

図14-2-18 まちづくり全般の変化—小鮎地区（良くなったもの）



「悪くなったもの」では、全体と比べて、「商店街活性化の状況」がやや高くなっている。一方、「放置自転車や歩行者の安全」がやや低くなっている。

図14-2-19 まちづくり全般の変化—小鮎地区（悪くなったもの）

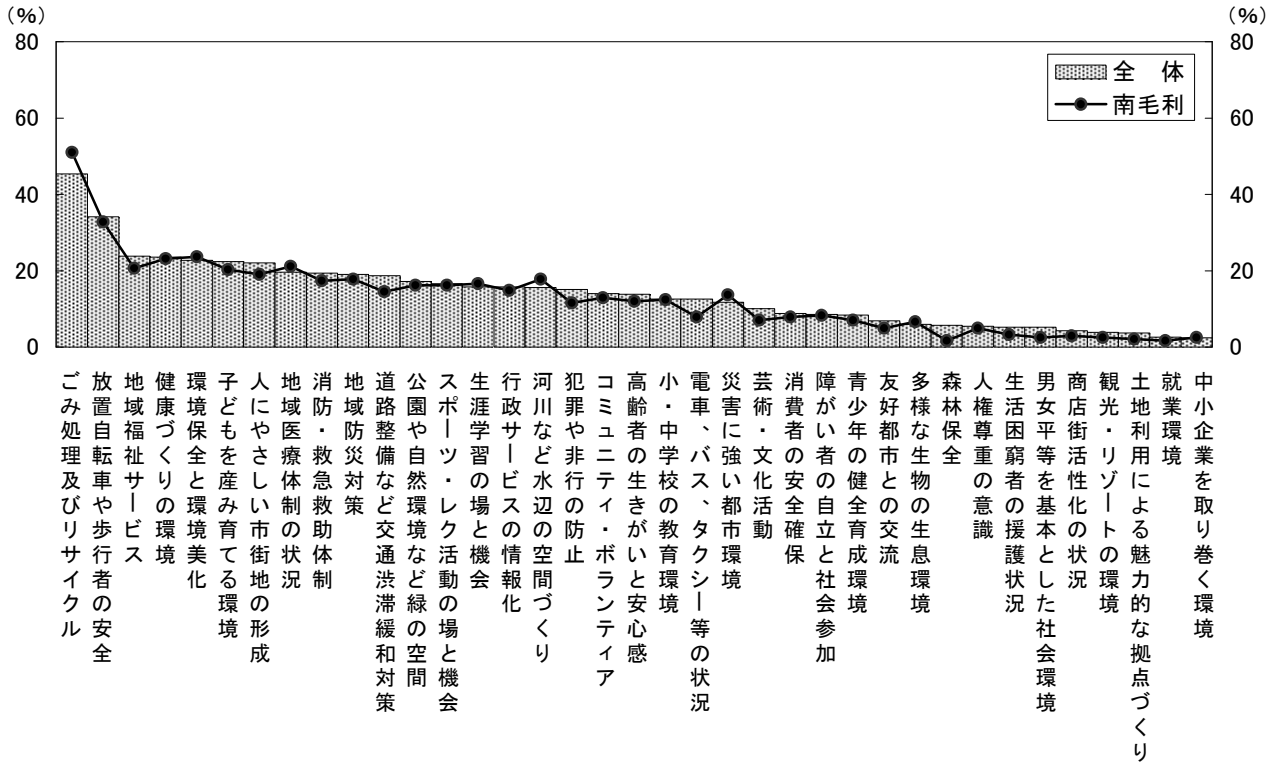


【地区ごとの傾向】

〔南毛利地区〕

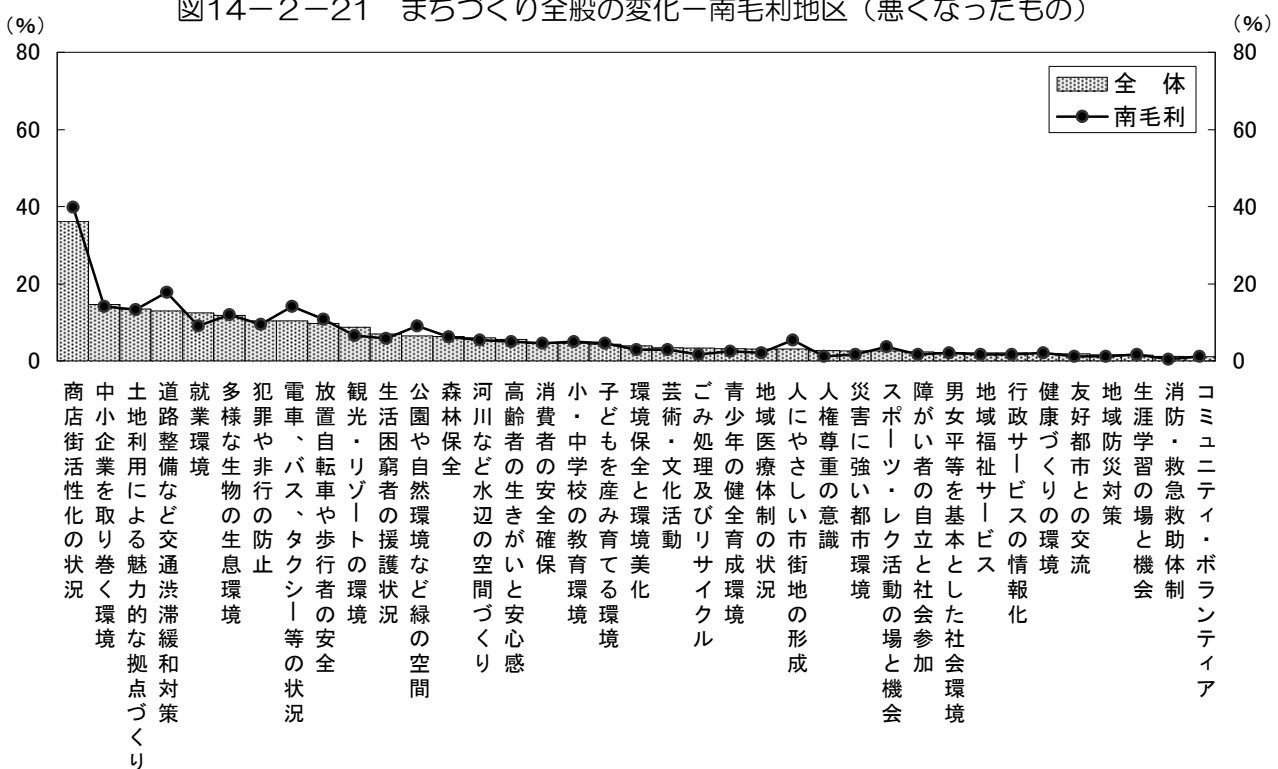
「良くなったもの」では、全体と比べて、「ごみ処理及びリサイクル」が高くなっている。一方、「電車、バス、タクシー等の状況」がやや低くなっている。

図14-2-20 まちづくり全般の変化—南毛利地区（良くなったもの）



「悪くなったもの」では、全体と比べて、「道路整備など交通渋滞緩和対策」と「商店街活性化の状況」がやや高くなっている。一方、「就業環境」がやや低くなっている。

図14-2-21 まちづくり全般の変化—南毛利地区（悪くなったもの）

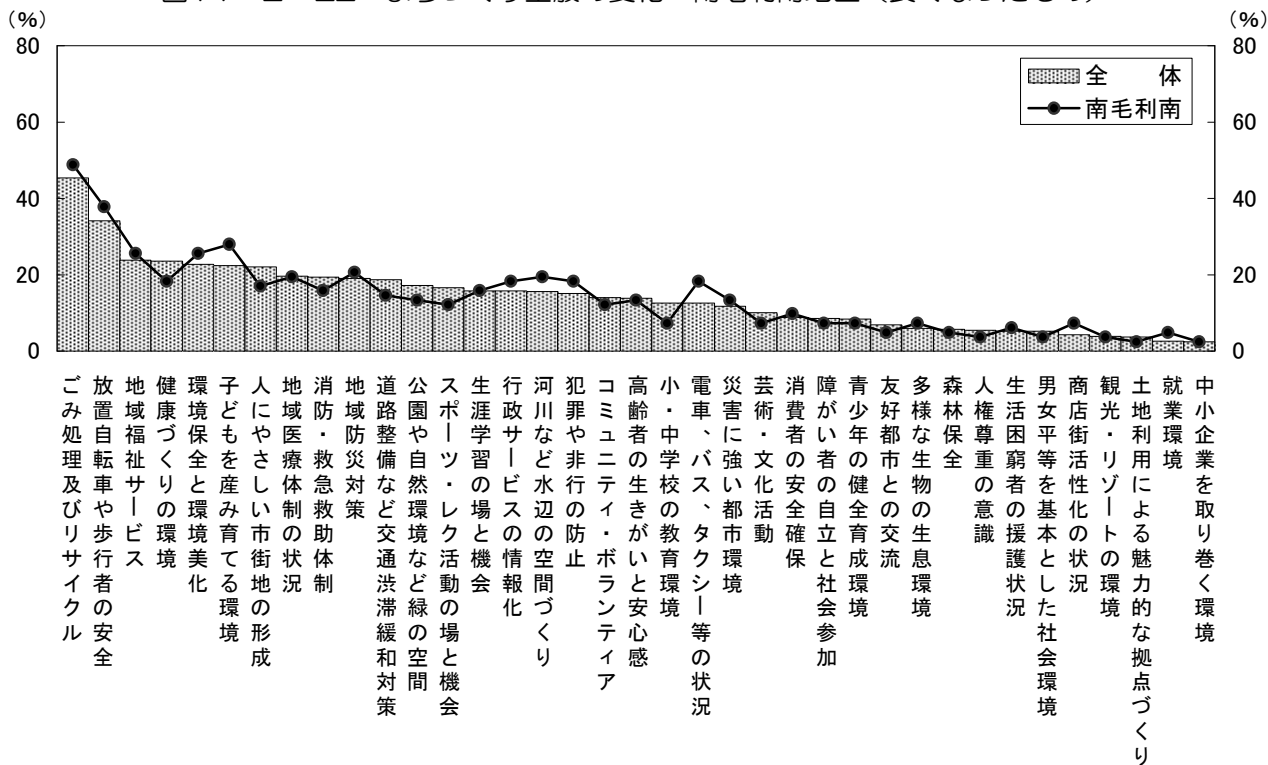


【地区ごとの傾向】

〔南毛利南地区〕

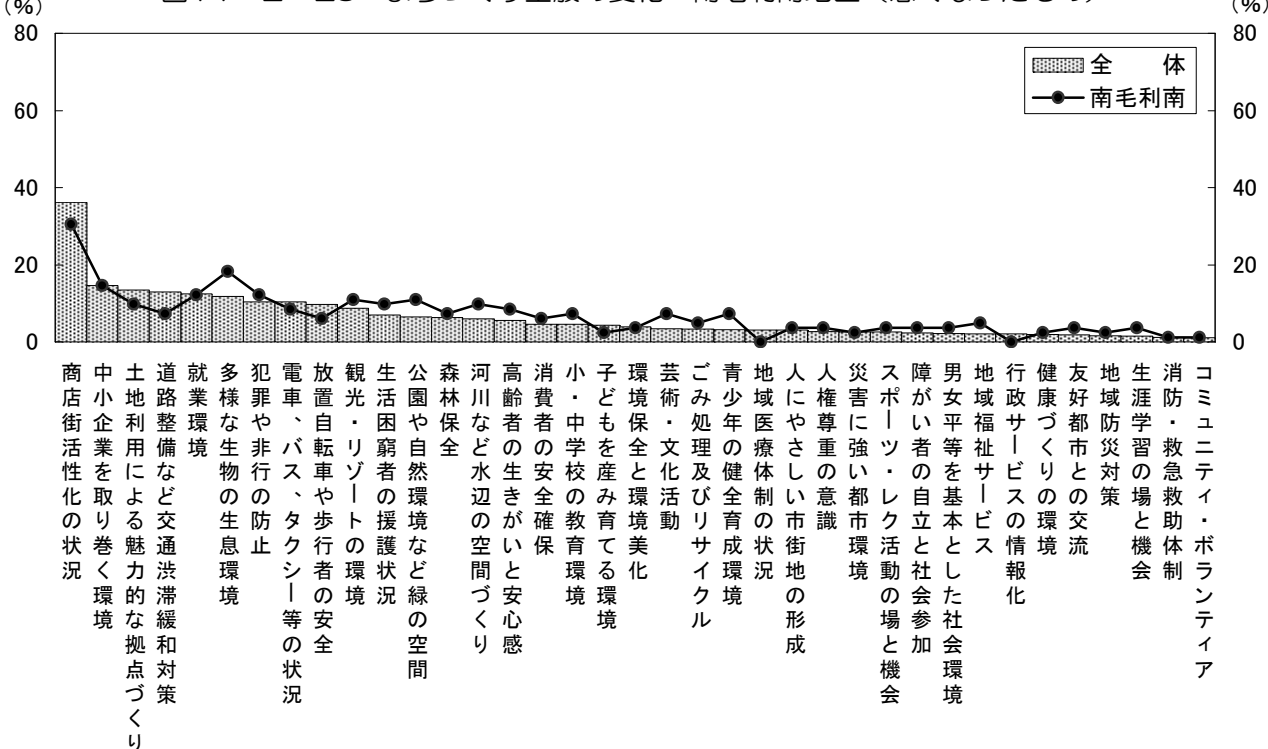
「良くなったもの」では、全体と比べて、「電車、バス、タクシー等の状況」、「子どもを産み育てる環境」が高くなっている。一方、「健康づくりの環境」、「小・中学校の教育環境」、「人にやさしい市街地の形成」が低くなっている。

図14-2-22 まちづくり全般の変化—南毛利南地区（良くなったもの）



「悪くなったもの」では、全体と比べて、「多様な生物の生息環境」が高くなっている。一方、「商店街活性化の状況」と「道路整備など交通渋滞緩和対策」が低くなっている。

図14-2-23 まちづくり全般の変化—南毛利南地区（悪くなったもの）

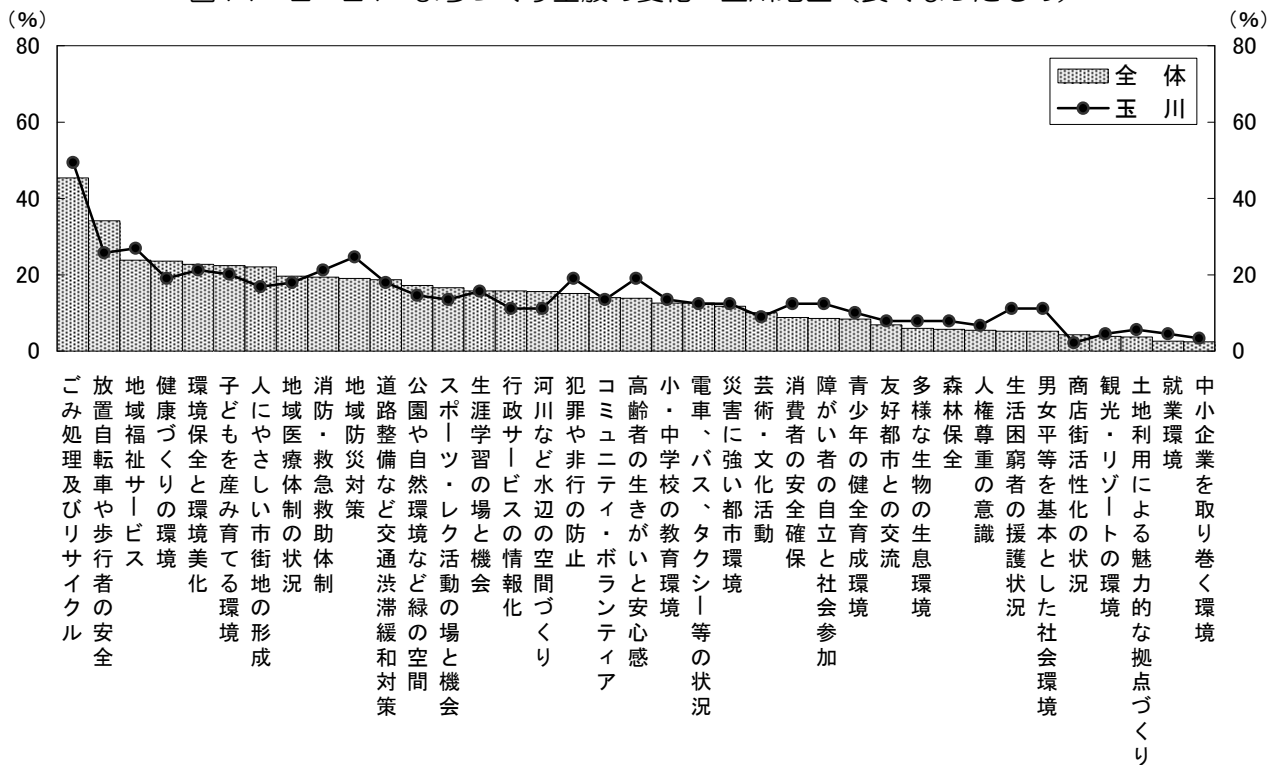


【地区ごとの傾向】

〔玉川地区〕

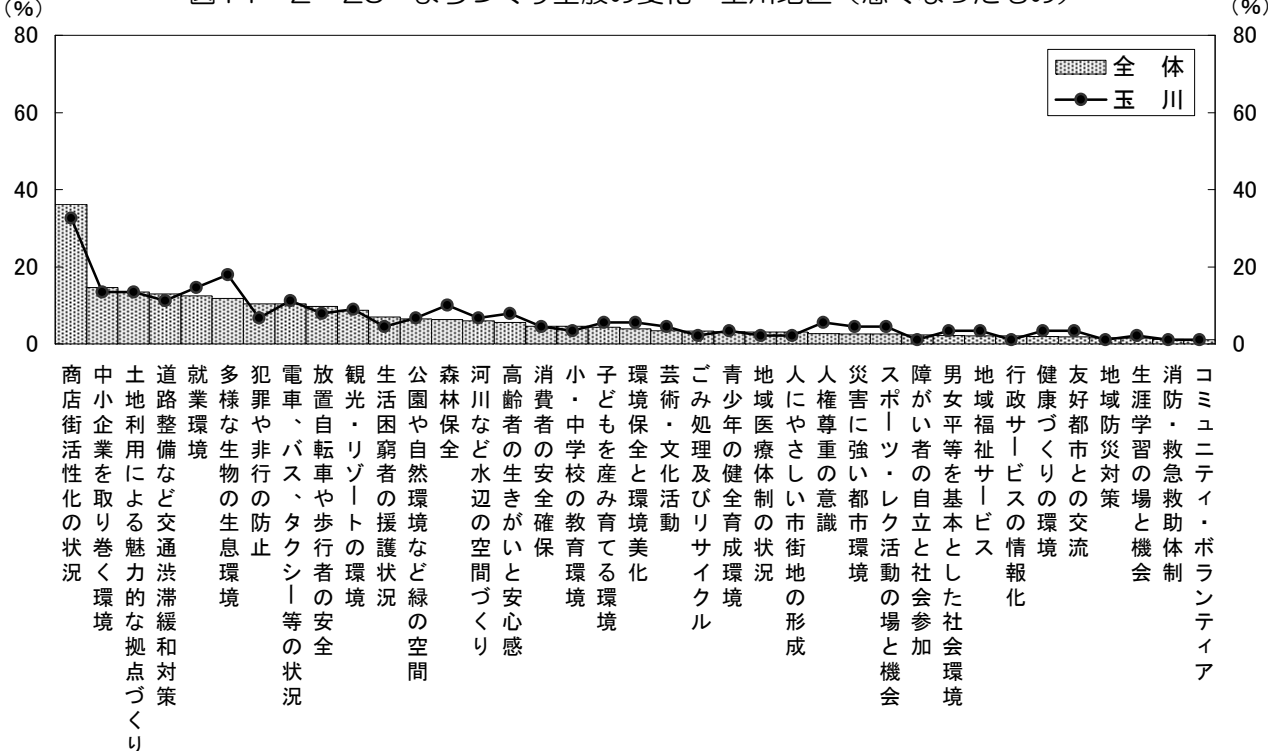
「良くなったもの」では、全体と比べて、「生活困窮者の援護状況」、「男女平等を基本とした社会環境」、「地域防災対策」、「高齢者の生きがいと安心感」が高くなっている。一方、「放置自転車や歩行者の安全」と「人にやさしい市街地の形成」が低くなっている。

図14-2-24 まちづくり全般の変化—玉川地区（良くなったもの）



「悪くなったもの」では、全体と比べて、「多様な生物の生息環境」が高くなっている。一方、「犯罪や非行の防止」がやや低くなっている。

図14-2-25 まちづくり全般の変化—玉川地区（悪くなったもの）

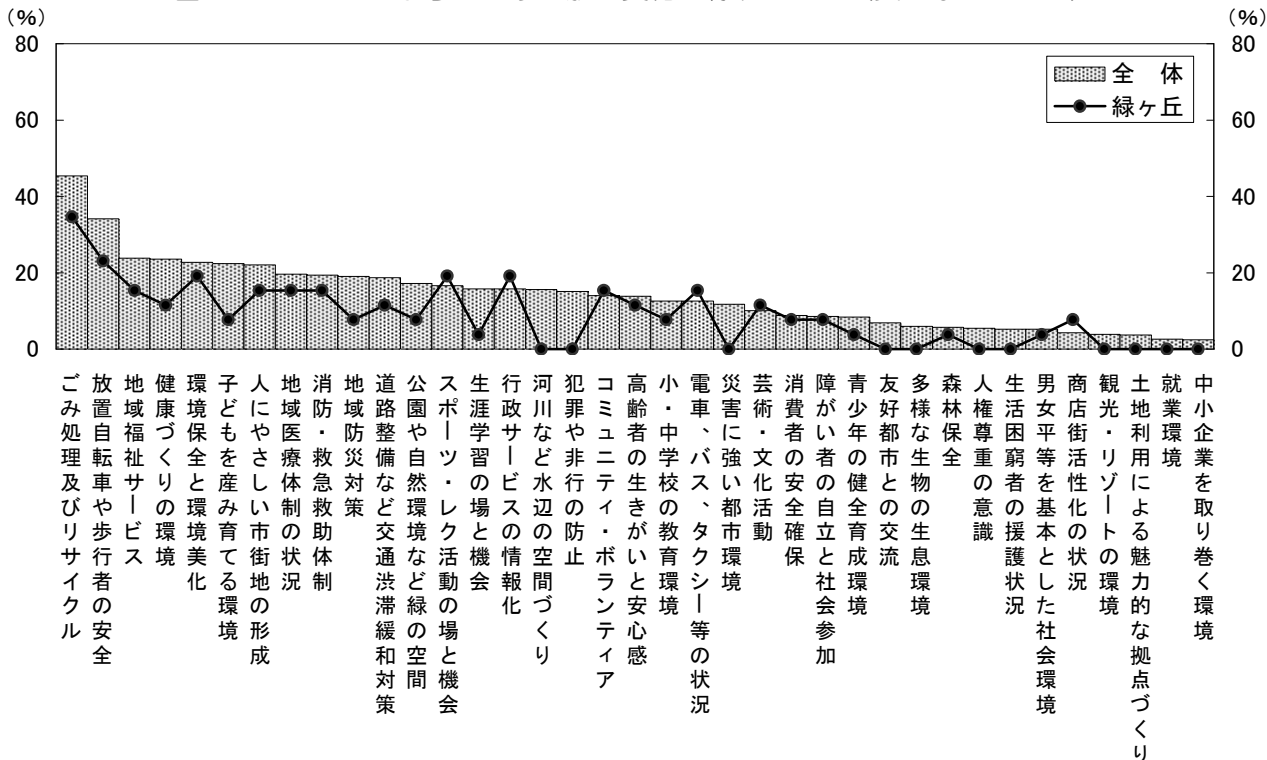


【地区ごとの傾向】

〔緑ヶ丘地区〕

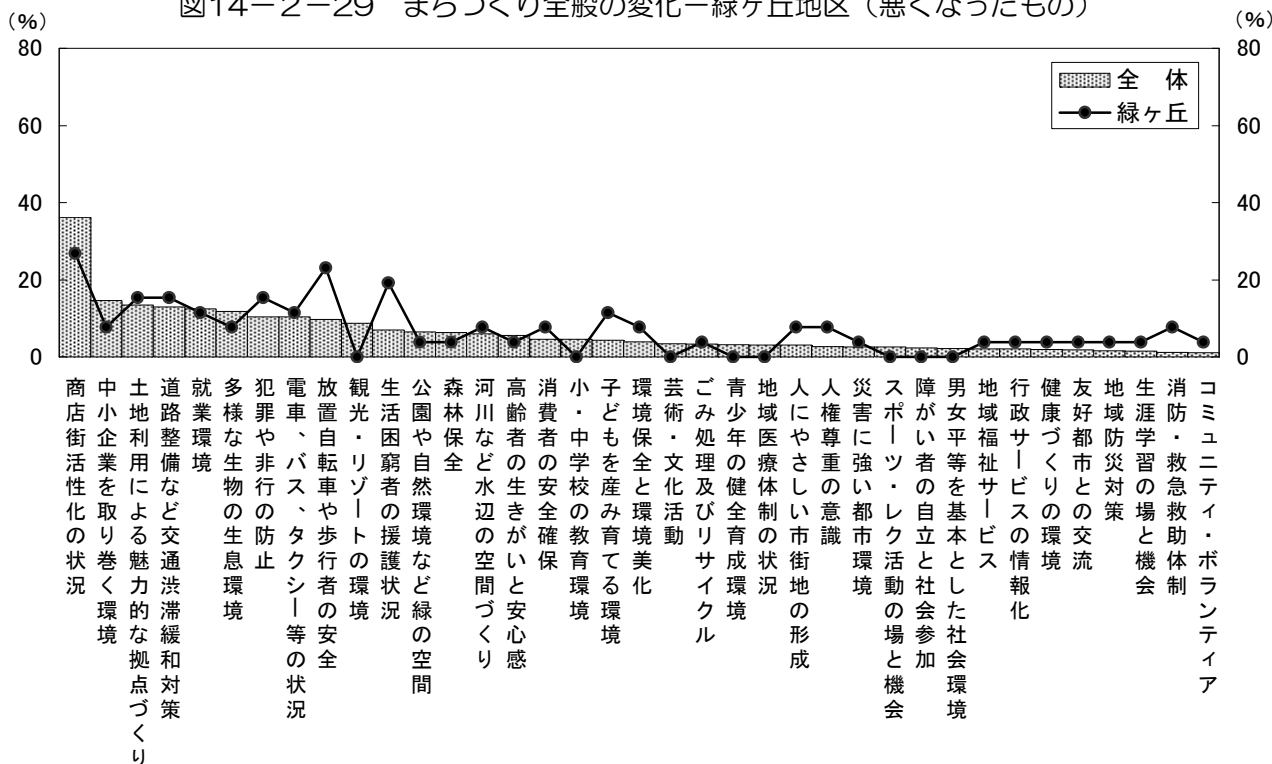
「良くなったもの」では、全体と比べて、「行政サービスの情報化」と「スポーツ・レク活動の場と機会」がやや高くなっている。一方、「河川など水辺の空間づくり」、「災害に強い都市環境」、「犯罪や非行の防止」、「子どもを産み育てる環境」など低い項目が多くなっている。

図14-2-28 まちづくり全般の変化－緑ヶ丘地区（良くなったもの）



「悪くなったもの」では、全体と比べて、「放置自転車や歩行者の安全」、「生活困窮者の援護状況」、「子どもを産み育てる環境」が特に高くなっている。一方、「商店街活性化の状況」、「観光・リゾートの環境」、「中小企業を取り巻く環境」が低くなっている。

図14-2-29 まちづくり全般の変化－緑ヶ丘地区（悪くなったもの）

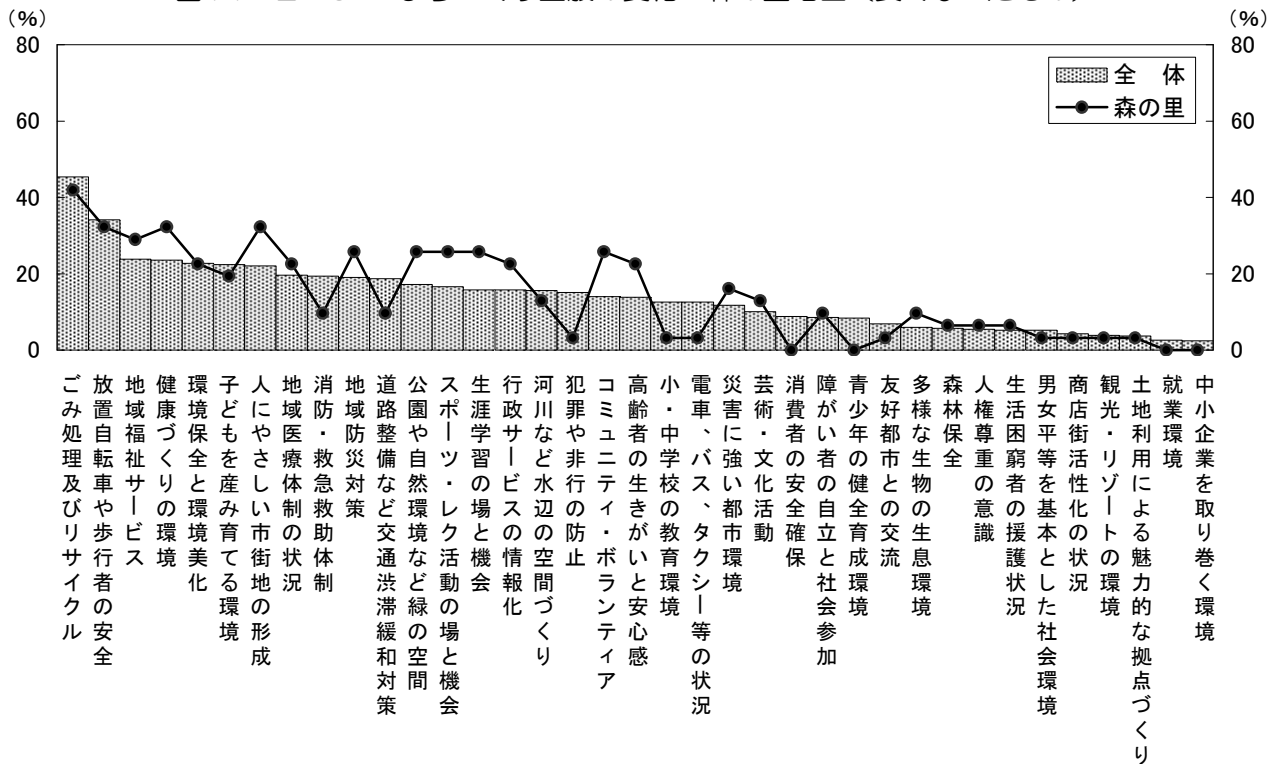


【地区ごとの傾向】

〔森の里地区〕

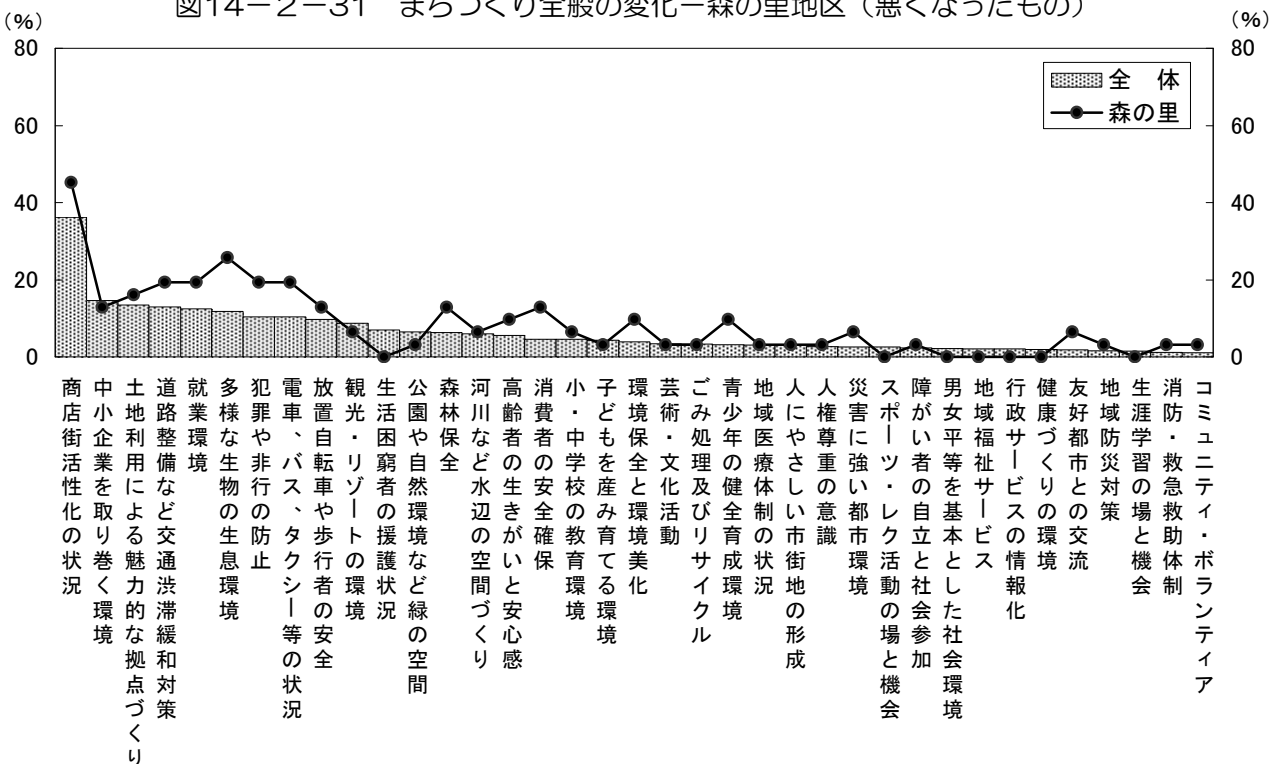
「良くなったもの」では、全体と比べて、「コミュニティ活動・ボランティア活動」、「人にやさしい市街地の形成」、「生涯学習の場と機会」が特に高くなっている。一方、「犯罪や非行の防止」、「小・中学校の教育環境」、「電車、バス、タクシー等の状況」が特に低くなっている。

図14-2-30 まちづくり全般の変化－森の里地区（良くなったもの）



「悪くなったもの」では、全体と比べて、「商店街活性化の状況」と「多様な生物の生息環境」が特に高くなっている。一方、「生活困窮者の援護状況」が低くなっている。

図14-2-31 まちづくり全般の変化－森の里地区（悪くなったもの）

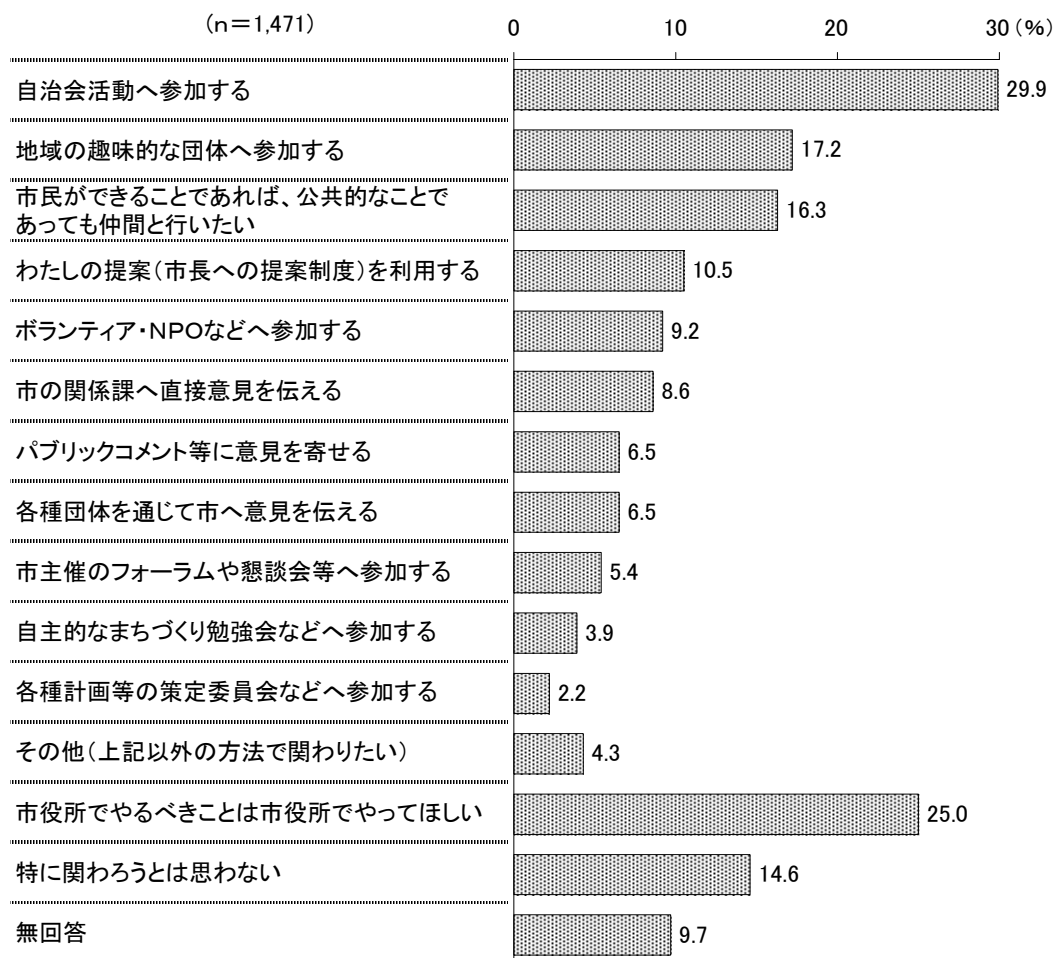


(3) まちづくりへの参加 (A:問33)

問. あなたは、どのようにまちづくりに関わっていきたいと思いますか。

(いくつでも選んでください)

図14-3-1 まちづくりへの参加



【全体】

どのようにまちづくりに関わっていきたいか聞いたところ、「自治会活動へ参加する」(29.9%)が約3割で最も高く、次いで「地域の趣味的な団体へ参加する」(17.2%)、「市民ができることであれば、公共的なことであつても仲間と行いたい」(16.3%)、「わたしの提案(市長への提案制度)を利用する」(10.5%)となっている。

また、「市役所でやるべきことは市役所でやってほしい」(25.0%)が2割半ば、「特に関わろうとは思わない」(14.6%)は1割半ばとなっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、「特に関わろうとは思わない」（14.6%）は前回調査（18.0%）より3.4ポイント減少している。

表14-3-1 まちづくりへの参加—経年変化

調 査 年	n														(%)	
		自治会活動へ参加する	地域の趣味的な団体へ参加する	市民ができることであれば、公共的なことであっても仲間と行いたい	わたしの提案（市長への提案制度）を利用する	ボランティア・NPOなどへ参加する	市の関係課へ直接意見を伝える	各種団体を通じて市へ意見を伝える	パブリックコメント等に意見を寄せる	市主催のフォーラムや懇談会等へ参加する	自主的なまちづくり勉強会などへ参加する	各種計画等の策定委員会などへ参加する	その他（左記以外の方法で関わりたい）	市役所でやるべきことは市役所でやってほしい	特に関わろうとは思わない	無回答
平成27年度	1,471	29.9	17.2	16.3	10.5	9.2	8.6	6.5	6.5	5.4	3.9	2.2	4.3	25.0	14.6	9.7
平成25年度	1,270	29.1	19.5	16.4	11.6	11.7	11.3	6.7	-	6.4	5.3	2.3	5.4	26.3	18.0	11.4
平成23年度	815	24.7	17.4	17.5	11.8	13.3	8.0	8.7	-	8.2	6.5	3.4	4.2	19.3	10.9	5.8
平成21年度	1,608	29.5	14.2	14.9	13.4	9.3	7.5	6.2	-	7.9	5.5	3.4	3.3	21.4	11.1	4.3
平成19年度	1,500	24.8	22.5	15.5	12.9	13.5	8.3	6.9	-	5.9	6.7	2.2	1.6	20.1	14.3	6.4

（注）平成27年度調査では、「パブリックコメント等に意見を寄せる」を追加している。

【属性別】

性別で見ると、男性では「自治会活動へ参加する」(34.8%)が女性(26.5%)より8.3ポイント高くなっている。一方、女性では「市役所でやるべきことは市役所でやってほしい」(27.0%)が男性(22.5%)より4.5ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、60～69歳では「自治会活動へ参加する」(35.9%)が3割半ばと高く、「市民ができることであれば、公共的なことであっても仲間と行いたい」(24.1%)が2割半ばと高くなっている。70～79歳では「地域の趣味的な団体へ参加する」(22.4%)が2割を超えて高くなっている。

表14-3-2 まちづくりへの参加—性別、年齢別

(%)

		n	自治会活動へ参加する	地域の趣味的な団体へ参加する	市民ができることであっても仲間と行いたい	わたしの提案(市長への提案制度)を利用する	ボランティア・NPOなどへ参加する	市の関係課へ直接意見を伝える	パブリックコメント等に意見を寄せる	各種団体を通じて市へ意見を伝える	市主催のフォーラムや懇談会等へ参加する	自主的なまちづくり勉強会などへ参加する	各種計画等の策定委員会などへ参加する	その他(左記以外の方法で関わりたい)	市役所でやるべきことは市役所でやってほしい	特に関わろうとは思わない	無回答
全 体		1,471	29.9	17.2	16.3	10.5	9.2	8.6	6.5	6.5	5.4	3.9	2.2	4.3	25.0	14.6	9.7
性別	男 性	649	34.8	15.9	15.9	12.0	8.2	9.2	7.6	7.4	6.6	4.6	3.2	4.2	22.5	14.8	9.1
	女 性	804	26.5	18.5	16.8	9.2	10.1	8.0	5.3	5.7	4.4	3.4	1.1	4.4	27.0	14.2	10.0
年 齢 別	20歳未満	7	14.3	28.6	14.3	-	57.1	-	-	-	-	-	-	14.3	14.3	-	-
	20～29歳	90	11.1	12.2	14.4	8.9	13.3	1.1	7.8	4.4	2.2	4.4	1.1	6.7	16.7	30.0	2.2
	30～39歳	195	23.1	11.3	16.9	12.3	7.2	8.7	8.7	4.6	4.1	3.1	0.5	5.6	28.2	19.0	1.5
	40～49歳	228	33.8	17.1	12.7	11.8	7.5	6.6	8.3	4.4	3.1	1.3	1.3	3.1	20.2	18.9	3.5
	50～59歳	223	30.0	19.3	13.9	8.5	9.4	11.2	9.0	7.2	4.9	2.7	1.8	6.7	26.0	13.0	4.5
	60～69歳	323	35.9	18.6	24.1	10.8	11.8	9.3	6.2	6.5	8.4	6.2	5.3	5.0	24.8	8.7	10.8
	70～79歳	286	32.5	22.4	15.4	10.1	8.0	10.1	3.1	9.8	6.6	4.5	1.7	1.7	27.3	12.6	17.1
	80歳以上	110	28.2	10.9	9.1	10.0	4.5	7.3	0.9	5.5	4.5	4.5	-	0.9	29.1	10.9	31.8

〔居住地区別の結果〕

表14-3-3 まちづくりへの参加—居住地区別

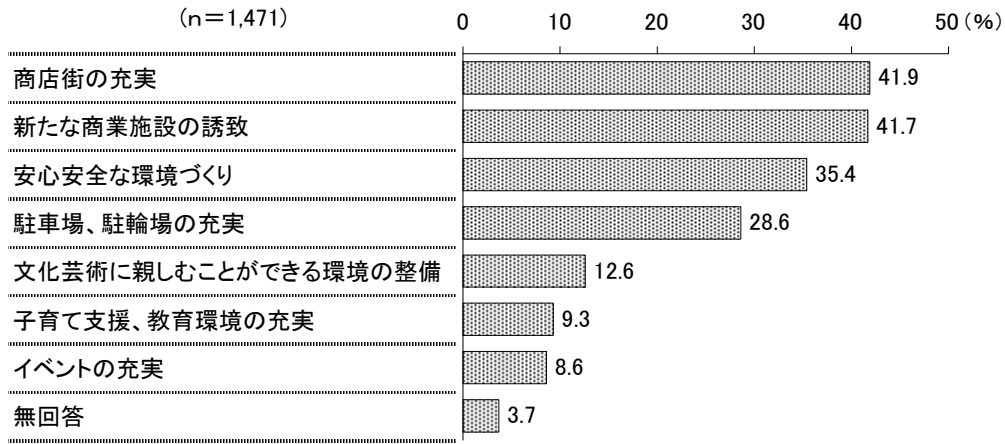
(%)

	n	自治会活動へ参加する	地域の趣味的な団体へ参加する	市民ができることであれば、公共的なことであっても仲間と行いたい	わたしの提案（市長への提案制度）を利用する	ボランティア・NPOなどへ参加する	市の関係課へ直接意見を伝える	パブリックコメント等に意見を寄せる	各種団体を通じて市へ意見を伝える	市主催のフォーラムや懇談会等へ参加する	自主的なまちづくり勉強会などへ参加する	各種計画等の策定委員会などへ参加する	その他（左記以外の方法で関わりたい）	市役所でやるべきことは市役所でやってほしい	特に関わろうとは思わない	無回答	
全 体	1,471	29.9	17.2	16.3	10.5	9.2	8.6	6.5	6.5	5.4	3.9	2.2	4.3	25.0	14.6	9.7	
居 住 地 区 別	厚 木 北	146	17.8	20.5	17.8	9.6	9.6	11.0	9.6	2.7	5.5	2.1	2.1	5.5	21.9	13.0	11.6
	厚 木 南	74	25.7	14.9	20.3	9.5	8.1	12.2	4.1	6.8	2.7	5.4	4.1	4.1	20.3	13.5	6.8
	依 知 北	122	32.0	18.9	13.1	10.7	9.8	6.6	4.1	6.6	4.1	3.3	2.5	1.6	24.6	20.5	13.1
	依 知 南	60	30.0	16.7	15.0	10.0	5.0	10.0	3.3	6.7	5.0	6.7	1.7	5.0	30.0	20.0	6.7
	睦 合 北	62	38.7	21.0	16.1	8.1	6.5	8.1	6.5	11.3	3.2	1.6	3.2	4.8	24.2	14.5	11.3
	睦 合 南	134	26.9	12.7	15.7	8.2	11.2	11.2	4.5	6.0	4.5	2.2	0.7	4.5	28.4	15.7	9.7
	睦 合 西	45	24.4	17.8	20.0	6.7	15.6	8.9	8.9	8.9	11.1	11.1	2.2	2.2	28.9	17.8	4.4
	荻 野	59	25.4	10.2	22.0	11.9	5.1	8.5	3.4	3.4	5.1	5.1	3.4	5.1	22.0	11.9	13.6
	小 鮎	167	35.9	16.8	17.4	13.2	5.4	5.4	7.8	8.4	7.2	4.2	2.4	6.0	29.3	14.4	7.8
	南 毛 利	274	25.5	19.0	16.1	8.8	10.9	8.4	9.1	5.1	5.5	2.6	1.1	4.4	26.3	14.6	8.4
	南毛利南	93	34.4	15.1	12.9	15.1	9.7	10.8	4.3	7.5	9.7	8.6	5.4	3.2	19.4	11.8	10.8
	玉 川	97	47.4	12.4	19.6	13.4	9.3	8.2	4.1	9.3	6.2	6.2	2.1	2.1	18.6	10.3	11.3
	相 川	67	40.3	14.9	14.9	9.0	9.0	6.0	3.0	7.5	3.0	1.5	-	7.5	28.4	11.9	13.4
	緑ヶ丘	26	26.9	26.9	7.7	11.5	7.7	-	3.8	-	3.8	-	3.8	-	42.3	11.5	7.7
	森の里	33	30.3	36.4	12.1	15.2	15.2	9.1	12.1	6.1	-	3.0	-	3.0	9.1	15.2	3.0

(4) 本厚木駅周辺の活性化 (A:問30)

問. 本厚木駅周辺を活性化するために特に必要だと思うことは何ですか。
(2つまで選んでください)

図14-4-1 本厚木駅周辺の活性化



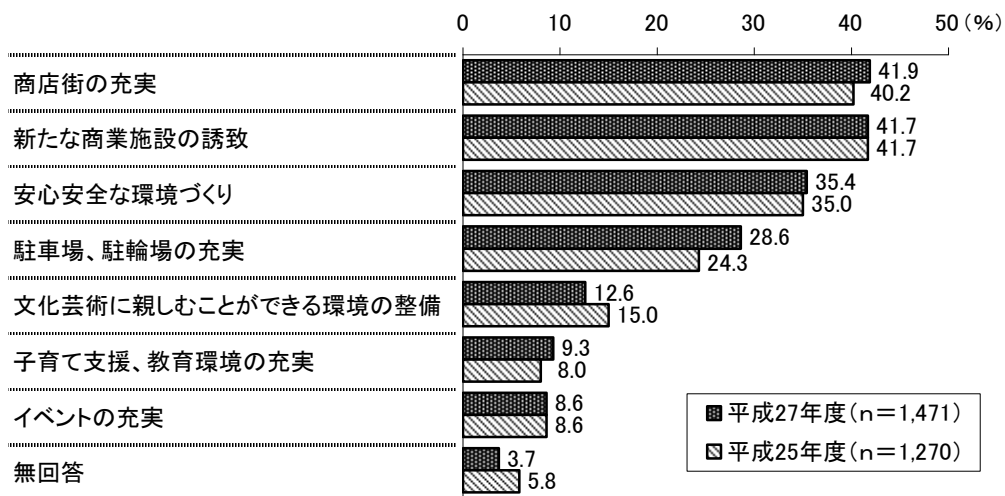
【全体】

本厚木駅周辺の活性化に必要なことについて聞いたところ、「商店街の充実」(41.9%)と「新たな商業施設の誘致」(41.7%)がともに4割を超えて高く、次いで「安心安全な環境づくり」(35.4%)、「駐車場、駐輪場の充実」(28.6%)、「文化芸術に親しむことができる環境の整備」(12.6%)となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、「駐車場、駐輪場の充実」(28.6%)は前回調査(24.3%)より4.3ポイント増加している。

図14-4-2 本厚木駅周辺の活性化—経年変化



【属性別】

性別で見ると、女性では「安心安全な環境づくり」(37.7%)が男性(32.7%)より5.0ポイント高くなっている。一方、男性では「新たな商業施設の誘致」(43.6%)が女性(40.2%)より3.4ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、40～49歳では「新たな商業施設の誘致」(51.8%)が5割を超えて高くなっている。20～29歳では「安心安全な環境づくり」(40.0%)が4割と高くなっている。70～79歳では「駐車場、駐輪場の充実」(31.5%)が3割を超えて高くなっている。

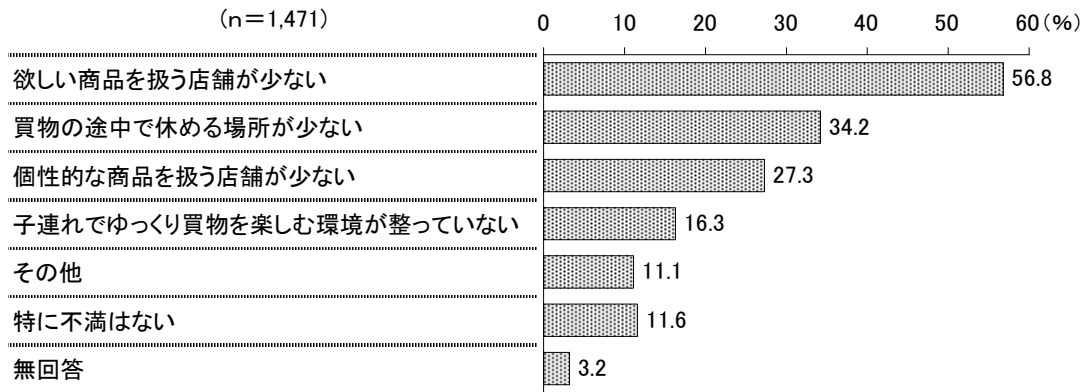
表14-4-1 本厚木駅周辺の活性化—性別、年齢別

			(%)							
		n	商店街の充実	新たな商業施設の誘致	安心安全な環境づくり	駐車場、駐輪場の充実	文化芸術に親しむことができる環境の整備	子育て支援、教育環境の充実	イベントの充実	無回答
全 体		1,471	41.9	41.7	35.4	28.6	12.6	9.3	8.6	3.7
性別	男 性	649	41.3	43.6	32.7	30.2	11.7	9.4	8.3	4.0
	女 性	804	42.8	40.2	37.7	27.6	13.4	9.0	8.7	3.2
年 齢 別	20歳未満	7	42.9	-	42.9	57.1	-	28.6	14.3	-
	20～29歳	90	30.0	35.6	40.0	26.7	10.0	21.1	17.8	2.2
	30～39歳	195	30.8	48.7	34.9	26.2	8.2	22.1	14.9	0.5
	40～49歳	228	38.6	51.8	29.8	29.8	10.1	10.5	8.8	1.3
	50～59歳	223	44.8	44.4	39.0	28.7	11.7	4.5	8.5	0.9
	60～69歳	323	45.5	40.2	37.8	27.9	15.8	5.9	7.1	4.0
	70～79歳	286	47.9	36.0	33.6	31.5	14.0	4.5	5.2	7.0
	80歳以上	110	46.4	29.1	33.6	26.4	18.2	3.6	1.8	11.8

(5) 本厚木駅周辺の買物で不満を感じること (A: 問31)

問. 本厚木駅周辺の買物の際に不満を感じることはありますか。(2つまで選んでください)

図14-5-1 本厚木駅周辺の買物で不満を感じること



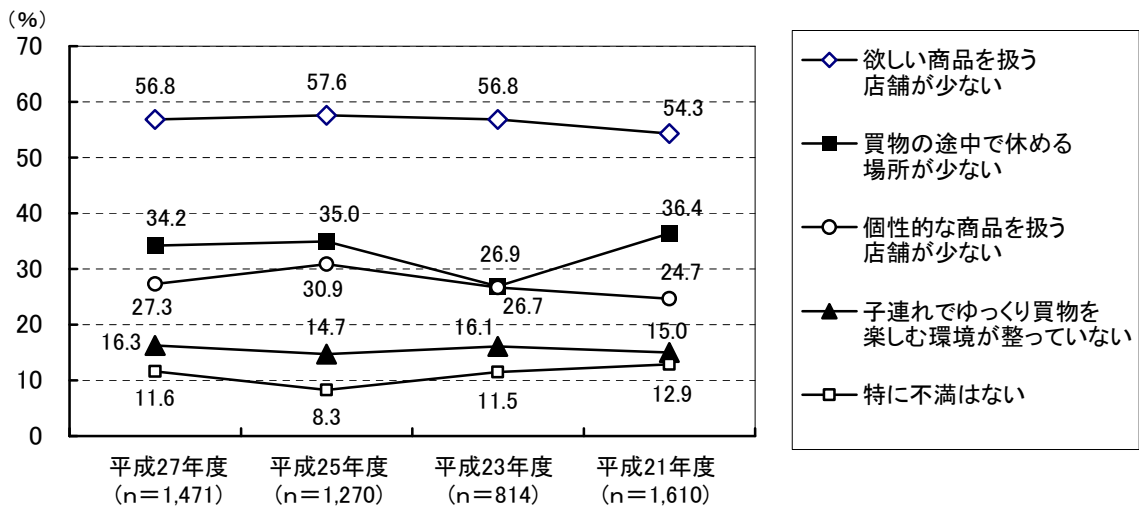
【全体】

本厚木駅周辺の買物で不満を感じることについて聞いたところ、「欲しい商品を扱う店舗が少ない」(56.8%)が6割近くで最も高く、次いで「買物の途中で休める場所が少ない」(34.2%)、「個性的な商品を扱う店舗が少ない」(27.3%)、「子連れでゆっくり買物を楽しむ環境が整っていない」(16.3%)となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、「個性的な商品を扱う店舗が少ない」(27.3%)は前回調査(30.9%)より3.6ポイント減少している。「特に不満はない」(11.6%)は前回調査(8.3%)より3.3ポイント増加している。

図14-5-2 本厚木駅周辺の買物で不満を感じること—経年変化



【属性別】

性別で見ると、女性では「欲しい商品を扱う店舗が少ない」(59.6%)が男性(53.6%)より6.0ポイント、「買物の途中で休める場所が少ない」(36.6%)が男性(31.1%)より5.5ポイント高くなっている。一方、男性では「個性的な商品を扱う店舗が少ない」(29.7%)が女性(25.4%)より4.3ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、30～39歳と50～59歳では「欲しい商品を扱う店舗が少ない」(69.7%・69.1%)が約7割と高くなっている。80歳以上では「買物の途中で休める場所が少ない」(49.1%)が約5割と高くなっている。30～39歳では「子連れでゆっくり買物を楽しむ環境が整っていない」(34.9%)が3割半ばと高くなっている。

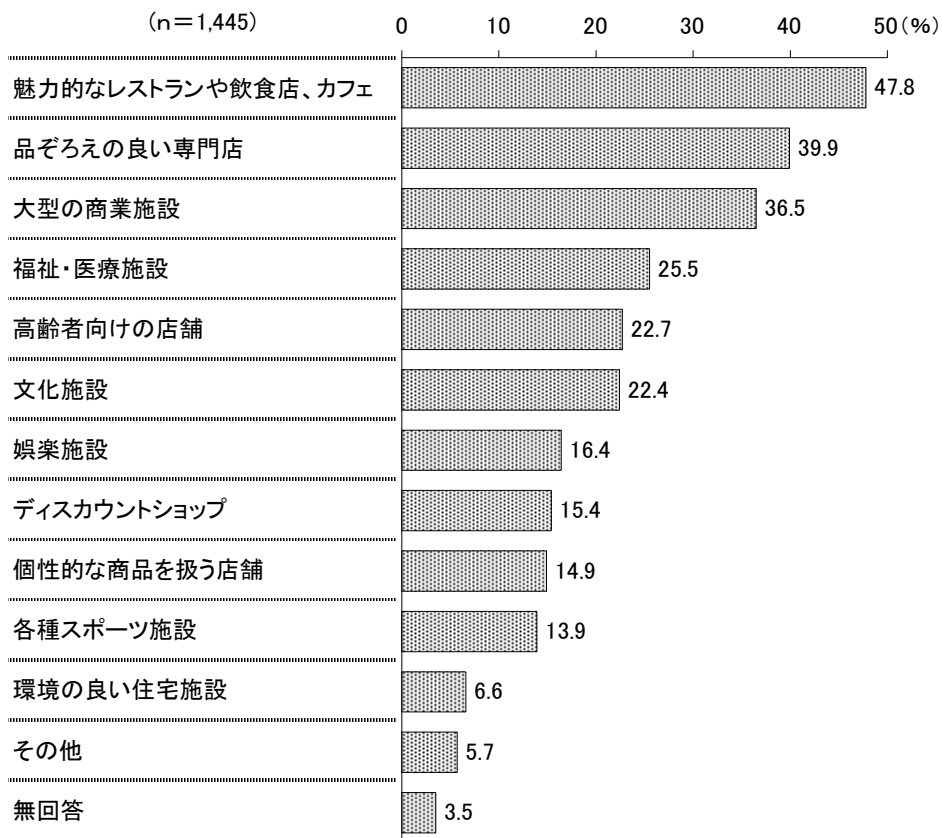
表14-5-1 本厚木駅周辺の買物で不満を感じること—性別、年齢別

		(%)							
		n	な欲しい商品を扱う店舗が少ない	買物の途中で休める場所が少ない	個性的な商品を扱う店舗が少ない	子連れでゆっくり買物を楽しむ環境が整っていない	その他	特に不満はない	無回答
全 体		1,471	56.8	34.2	27.3	16.3	11.1	11.6	3.2
性別	男 性	649	53.6	31.1	29.7	14.9	10.3	13.3	4.0
	女 性	804	59.6	36.6	25.4	17.4	11.6	10.3	2.4
年齢別	20歳未満	7	57.1	28.6	28.6	-	28.6	14.3	-
	20～29歳	90	56.7	28.9	20.0	26.7	12.2	8.9	3.3
	30～39歳	195	69.7	22.1	23.1	34.9	11.8	7.7	0.5
	40～49歳	228	62.7	24.6	30.7	19.7	14.5	8.8	0.4
	50～59歳	223	69.1	27.8	30.5	13.0	10.8	11.7	0.9
	60～69歳	323	55.7	41.8	31.0	12.1	8.7	10.8	4.6
	70～79歳	286	41.3	42.3	25.5	9.1	11.2	17.8	4.2
	80歳以上	110	40.0	49.1	20.0	5.5	7.3	13.6	11.8

(6) 本厚木駅周辺にあればよいと思う施設 (B: 問25)

問. 本厚木駅周辺に立地してほしい施設は何ですか。(いくつでも選んでください)

図14-6-1 本厚木駅周辺にあればよいと思う施設



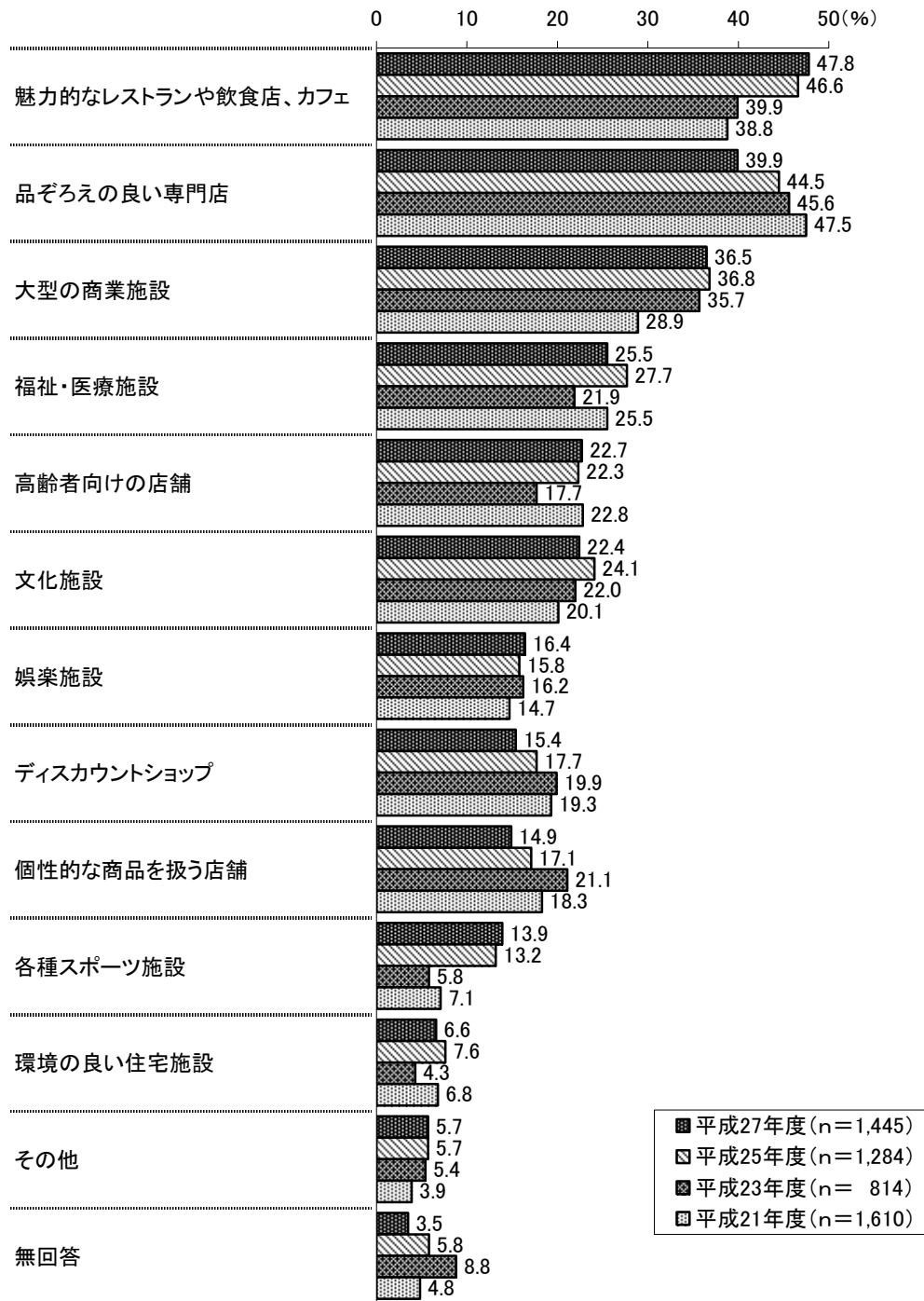
【全体】

本厚木駅周辺にあればよいと思う施設について聞いたところ、「魅力的なレストランや飲食店、カフェ」(47.8%) が5割近くで最も高く、次いで「品ぞろえの良い専門店」(39.9%)、「大型の商業施設」(36.5%)、「福祉・医療施設」(25.5%)、「高齢者向けの店舗」(22.7%)、「文化施設」(22.4%) となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、「魅力的なレストランや飲食店、カフェ」(47.8%)は平成21年度調査(38.8%)以降増加傾向にある。一方、「品ぞろえの良い専門店」(39.9%)は前回調査(44.5%)より4.6ポイント減少し、平成21年度調査(47.5%)以降減少傾向にある。

図14-6-2 本厚木駅周辺にあればよいと思う施設—経年変化



【属性別】

性別で見ると、女性では「魅力的なレストランや飲食店、カフェ」(52.8%)が男性(42.3%)より10.5ポイント、「高齢者向けの店舗」(25.8%)が男性(18.8%)より7.0ポイント、「品ぞろえの良い専門店」(42.5%)が男性(37.3%)より5.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、男性では「大型の商業施設」(41.1%)が女性(32.5%)より8.6ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、40～49歳では「魅力的なレストランや飲食店、カフェ」(57.4%)が6割近くと高く、「品ぞろえの良い専門店」(52.0%)が5割を超えて高くなっている。30～39歳では「大型の商業施設」(51.1%)が5割を超えて高くなっている。80歳以上では「高齢者向けの店舗」(58.3%)が6割近くと高くなっている。

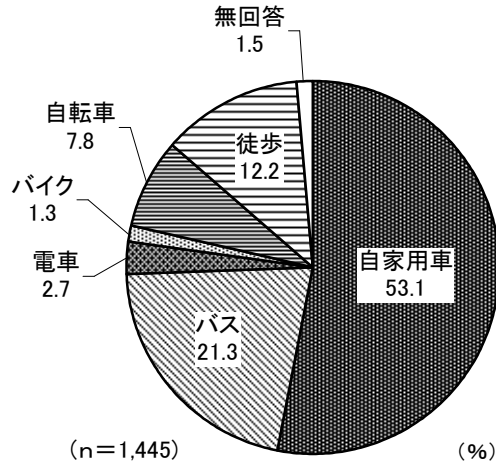
表14-6-1 本厚木駅周辺にあればよいと思う施設—性別、年齢別

			(%)												
		n	店、魅力的なレストランや飲食店、カフェ	品ぞろえの良い専門店	大型の商業施設	福祉・医療施設	高齢者向けの店舗	文化施設	娯楽施設	ディスカウトショップ	個性的な商品を扱う店舗	各種スポーツ施設	環境の良い住宅施設	その他	無回答
全 体		1,445	47.8	39.9	36.5	25.5	22.7	22.4	16.4	15.4	14.9	13.9	6.6	5.7	3.5
性別	男 性	643	42.3	37.3	41.1	23.6	18.8	21.9	17.9	16.2	16.8	15.7	5.1	6.8	3.7
	女 性	782	52.8	42.5	32.5	27.0	25.8	22.6	15.0	15.1	13.3	12.4	7.9	5.0	3.3
年齢別	20歳未満	14	42.9	71.4	35.7	14.3	7.1	7.1	35.7	14.3	14.3	7.1	14.3	7.1	-
	20～29歳	91	48.4	40.7	41.8	8.8	2.2	8.8	29.7	13.2	13.2	30.8	11.0	8.8	2.2
	30～39歳	184	50.5	45.1	51.1	18.5	5.4	18.5	21.2	19.6	13.0	16.3	10.9	5.4	1.6
	40～49歳	244	57.4	52.0	46.3	21.3	9.4	19.7	19.7	17.6	18.9	17.2	9.0	5.7	0.8
	50～59歳	207	52.2	39.1	39.6	28.5	17.4	22.7	16.4	20.8	19.3	15.0	7.2	5.8	1.9
	60～69歳	333	45.0	32.4	33.0	29.4	24.6	29.4	13.2	12.9	12.3	11.4	3.9	6.0	2.7
	70～79歳	260	43.5	36.5	23.1	31.2	43.8	24.6	11.5	12.7	13.8	9.6	3.1	5.0	7.7
	80歳以上	96	33.3	34.4	17.7	30.2	58.3	18.8	6.3	10.4	11.5	4.2	5.2	5.2	11.5

(7) 本厚木駅周辺で買物をするときの交通手段 (B: 問26)

問. 本厚木駅周辺で買い物をするとき、自宅からの主な交通手段は何ですか。
(1つだけ選んでください)

図14-7-1 本厚木駅周辺で買物をするときの交通手段



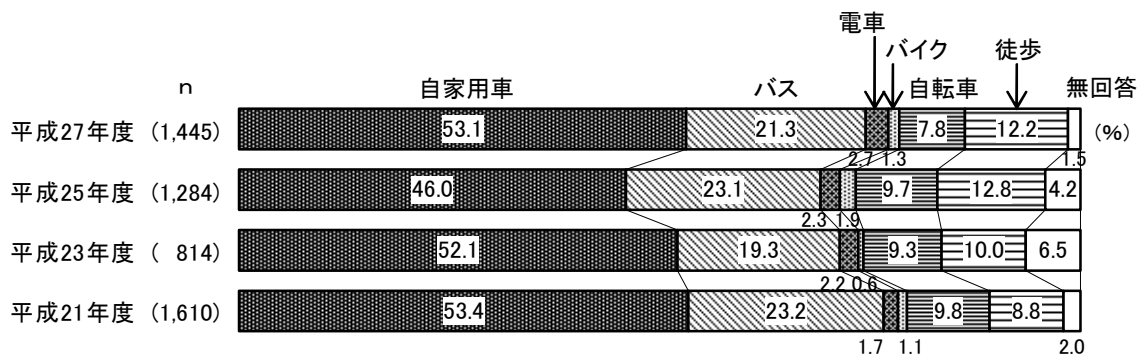
【全体】

本厚木駅周辺で買物をするときの交通手段について聞いたところ、「自家用車」(53.1%)が5割を超えて最も高く、次いで「バス」(21.3%)、「徒歩」(12.2%)、「自転車」(7.8%)となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、「自家用車」(53.1%)は前回調査(46.0%)より7.1ポイント増加している。

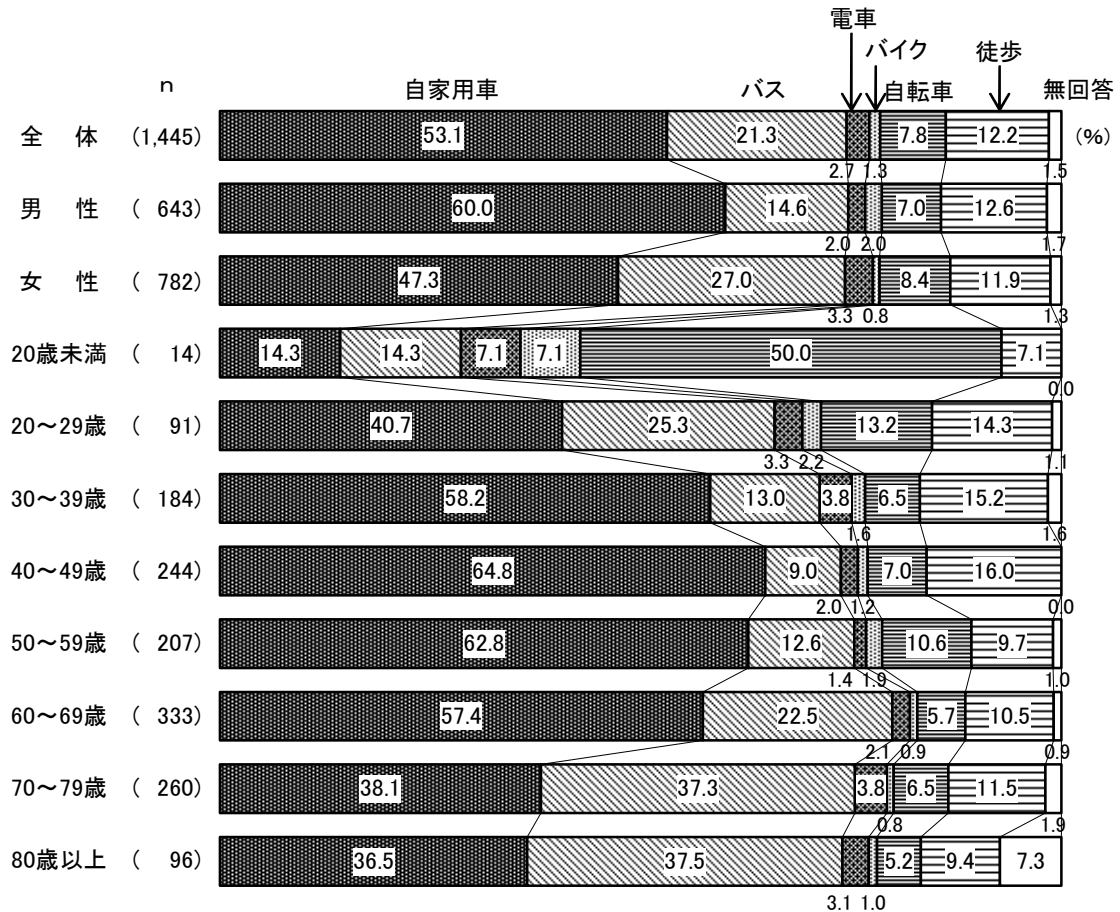
図14-7-2 本厚木駅周辺で買物をするときの交通手段—経年変化



【属性別】

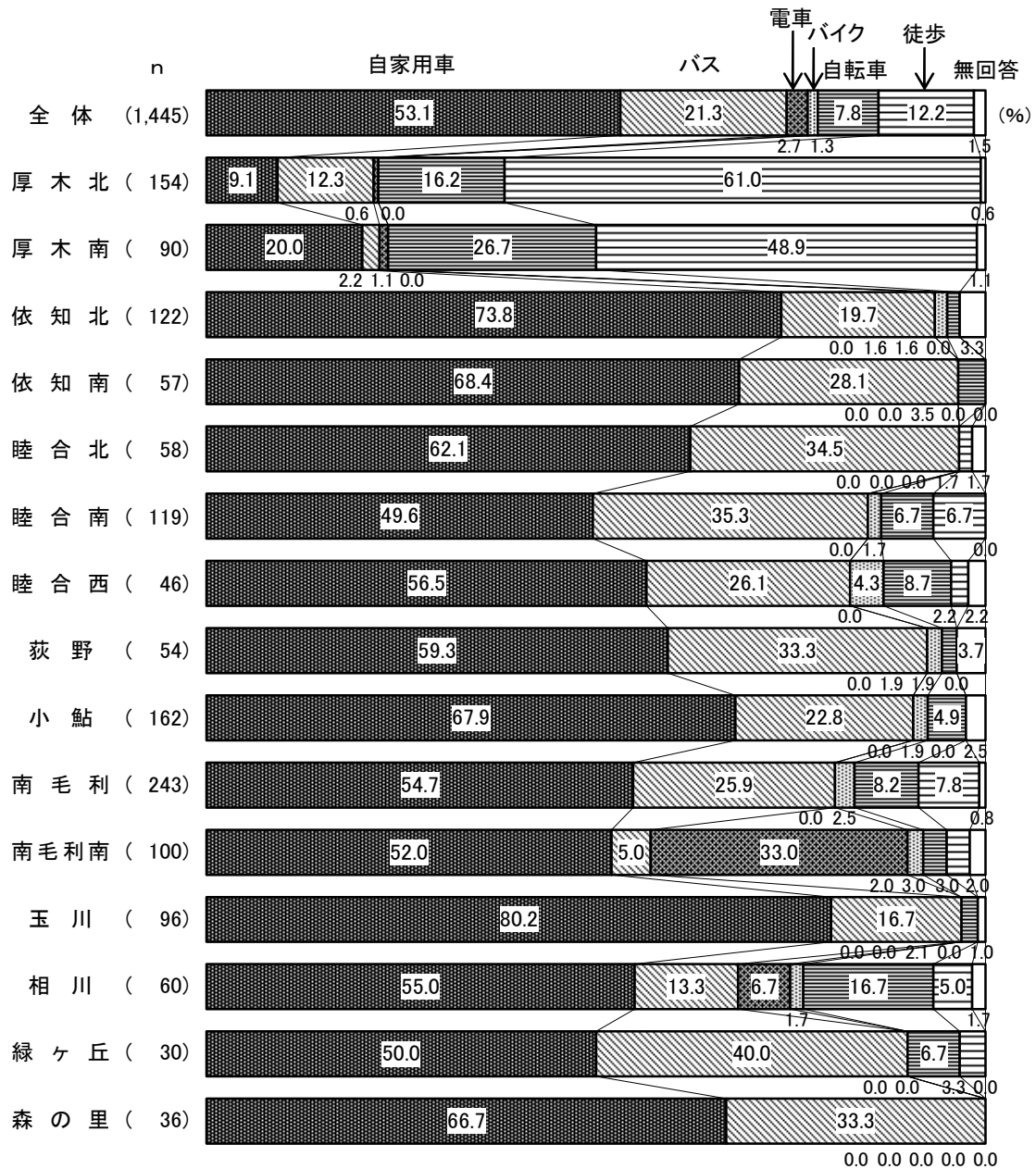
性別で見ると、男性では「自家用車」(60.0%)が女性(47.3%)より12.7ポイント高くなっている。一方、女性では「バス」(27.0%)が男性(14.6%)より12.4ポイント高くなっている。
 年齢別で見ると、40歳から59歳では「自家用車」が6割台と高くなっている。70歳以上では「バス」が4割近くと高くなっている。

図14-7-3 本厚木駅周辺で買物をするときの交通手段—性別、年代別



〔居住地区別の結果〕

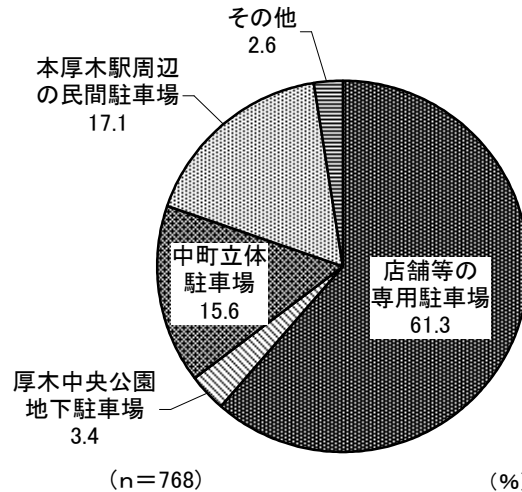
図14-7-4 本厚木駅周辺で買物をするときの交通手段—居住地区別



(8) 本厚木駅周辺で主に利用する駐車場 (B:問27)

問. 本厚木駅周辺で買物をするときの交通手段が「自家用車」とお答えの方にお聞きします。
主に利用される駐車場はどこですか。(1つだけ選んでください)

図14-8-1 本厚木駅周辺で主に利用する駐車場



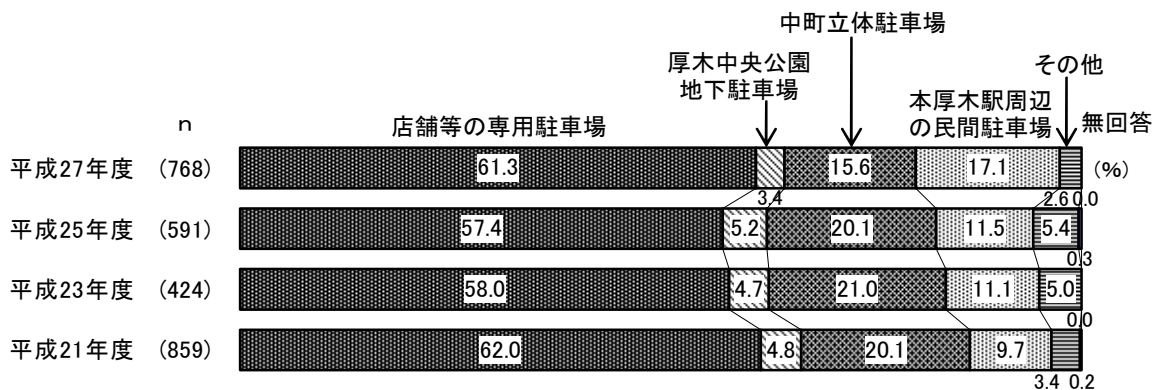
【全体】

本厚木駅周辺で買物をするときの交通手段が「自家用車」と答えた768人に、本厚木駅周辺で主に利用する駐車場について聞いたところ、「店舗等の専用駐車場」(61.3%)が6割を超えて最も高く、次いで「本厚木駅周辺の民間駐車場」(17.1%)、「中町立体駐車場」(15.6%)、「厚木中央公園地下駐車場」(3.4%)となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、「本厚木駅周辺の民間駐車場」(17.1%)は前回調査(11.5%)より5.6ポイント増加し、「店舗等の専用駐車場」(61.3%)は前回調査(57.4%)より3.9ポイント増加している。一方、「中町立体駐車場」(15.6%)は前回調査(20.1%)より4.5ポイント減少している。

図14-8-2 本厚木駅周辺で主に利用する駐車場—経年変化

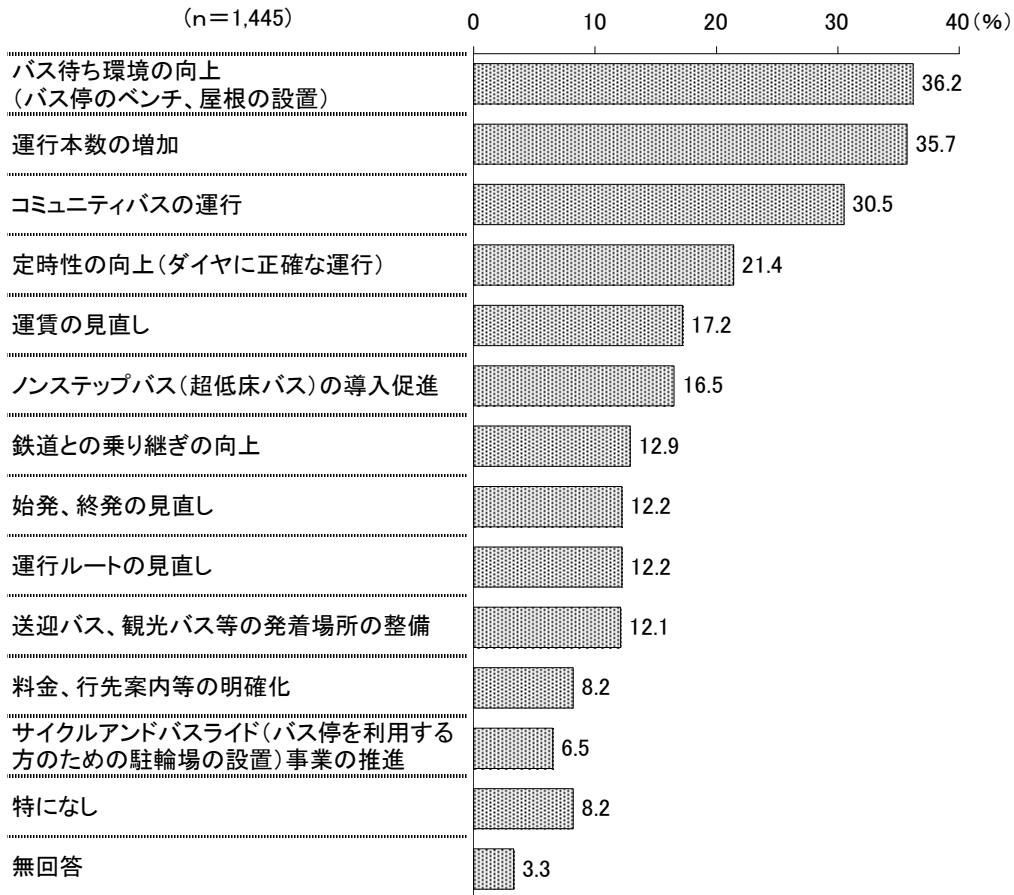


(9) 厚木市内のバス交通に望むこと (B:問29)

問. 厚木市内の主な交通機関であるバス交通に望むことは何ですか。

(3つまで選んでください)

図14-9-1 厚木市内のバス交通に望むこと



【全体】

厚木市内のバス交通に望むことについて聞いたところ、「バス待ち環境の向上(バス停のベンチ、屋根の設置)」(36.2%)が4割近くで最も高く、次いで「運行本数の増加」(35.7%)、「コミュニティバスの運行」(30.5%)、「定時性の向上(ダイヤに正確な運行)」(21.4%)、「運賃の見直し」(17.2%)、「ノンステップバス(超低床バス)の導入促進」(16.5%)となっている。

【経年変化】

新規設問のため、経年変化は掲載していない。

〔居住地区別の結果〕

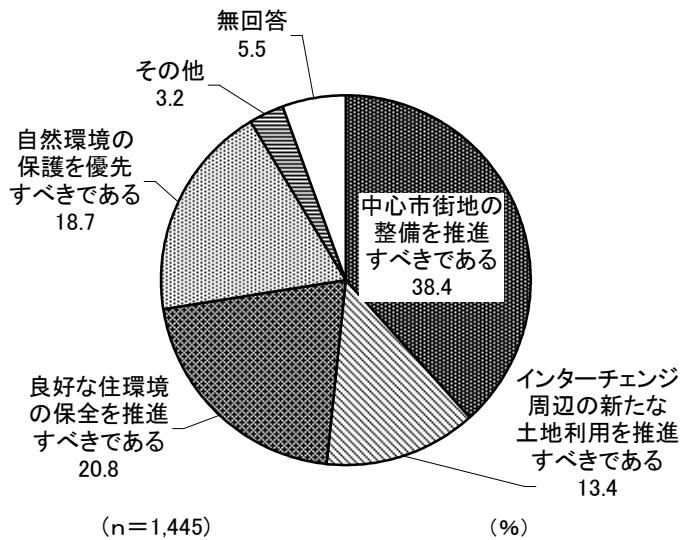
表14-9-2 厚木市内のバス交通に望むこと-居住地区別

		(%)														
		n	バス待ち環境の向上（バス停のベンチ、屋根の設置）	運行本数の増加	コミュニティバスの運行	定時性の向上（ダイヤに正確な運行）	運賃の見直し	進 ノンステップバス（超低床バス）の導入促	鉄道との乗り継ぎの向上	始発、終発の見直し	運行ルートの見直し	送迎バス、観光バス等の発着場所の整備	料金、行先案内等の明確化	サイクルアンドバスライド（バス停を利用する方のための駐輪場の設置）事業の推進	特になし	無回答
全 体		1,445	36.2	35.7	30.5	21.4	17.2	16.5	12.9	12.2	12.2	12.1	8.2	6.5	8.2	3.3
居 住 地 区 別	厚 木 北	154	31.8	15.6	27.3	18.2	11.7	14.3	11.7	3.2	10.4	16.2	12.3	6.5	16.2	4.5
	厚 木 南	90	27.8	24.4	28.9	16.7	5.6	13.3	7.8	5.6	12.2	12.2	18.9	6.7	20.0	4.4
	依 知 北	122	36.1	44.3	28.7	18.0	31.1	15.6	18.0	16.4	15.6	7.4	5.7	6.6	2.5	4.1
	依 知 南	57	52.6	15.8	29.8	26.3	17.5	21.1	8.8	19.3	5.3	14.0	3.5	5.3	10.5	-
	睦 合 北	58	44.8	36.2	22.4	20.7	22.4	24.1	8.6	10.3	8.6	15.5	13.8	5.2	8.6	1.7
	睦 合 南	119	46.2	17.6	34.5	23.5	22.7	25.2	17.6	5.9	5.9	10.9	10.1	13.4	5.0	0.8
	睦 合 西	46	43.5	28.3	21.7	23.9	4.3	17.4	6.5	13.0	8.7	17.4	6.5	6.5	8.7	4.3
	荻 野	54	42.6	38.9	25.9	20.4	27.8	25.9	11.1	13.0	9.3	11.1	5.6	9.3	3.7	1.9
	小 鮎	162	38.3	49.4	28.4	21.6	24.7	9.9	5.6	20.4	19.8	9.9	2.5	4.3	1.9	3.7
	南 毛 利	243	31.7	45.7	30.0	24.7	11.1	16.5	15.2	12.8	12.8	11.5	8.2	7.0	8.6	2.1
	南毛利南	100	26.0	41.0	34.0	22.0	12.0	13.0	16.0	9.0	18.0	17.0	9.0	3.0	10.0	7.0
	玉 川	96	41.7	47.9	32.3	13.5	16.7	14.6	17.7	18.8	10.4	13.5	4.2	7.3	6.3	4.2
	相 川	60	41.7	31.7	43.3	33.3	11.7	21.7	10.0	8.3	11.7	8.3	8.3	5.0	5.0	-
	緑ヶ丘	30	33.3	26.7	43.3	36.7	16.7	10.0	10.0	6.7	3.3	6.7	3.3	-	10.0	6.7
森の里	36	13.9	52.8	33.3	11.1	25.0	11.1	33.3	25.0	19.4	8.3	13.9	2.8	8.3	-	

(10) 市の将来の土地利用 (B: 問30)

問. 厚木市の将来的な土地利用について、最も力を入れた方がよいと思うことは何ですか。
(1つだけ選んでください)

図14-10-1 市の将来の土地利用



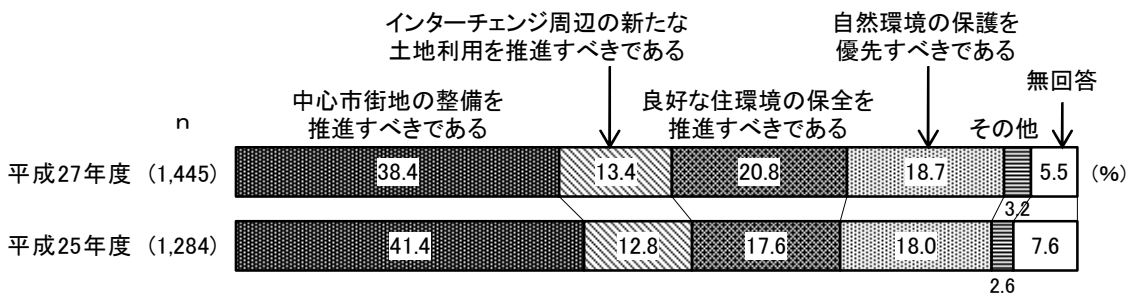
【全体】

市の将来の土地利用について聞いたところ、「中心市街地の整備を推進すべきである」(38.4%)が4割近くで最も高く、次いで「良好な住環境の保全を推進すべきである」(20.8%)、「自然環境の保護を優先すべきである」(18.7%)、「インターチェンジ周辺の新たな土地利用を推進すべきである」(13.4%)となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、「良好な住環境の保全を推進すべきである」(20.8%)は前回調査(17.6%)より3.2ポイント増加している。一方、「中心市街地の整備を推進すべきである」(38.4%)は前回調査(41.4%)より3.0ポイント減少している。

図14-10-2 市の将来の土地利用—経年変化

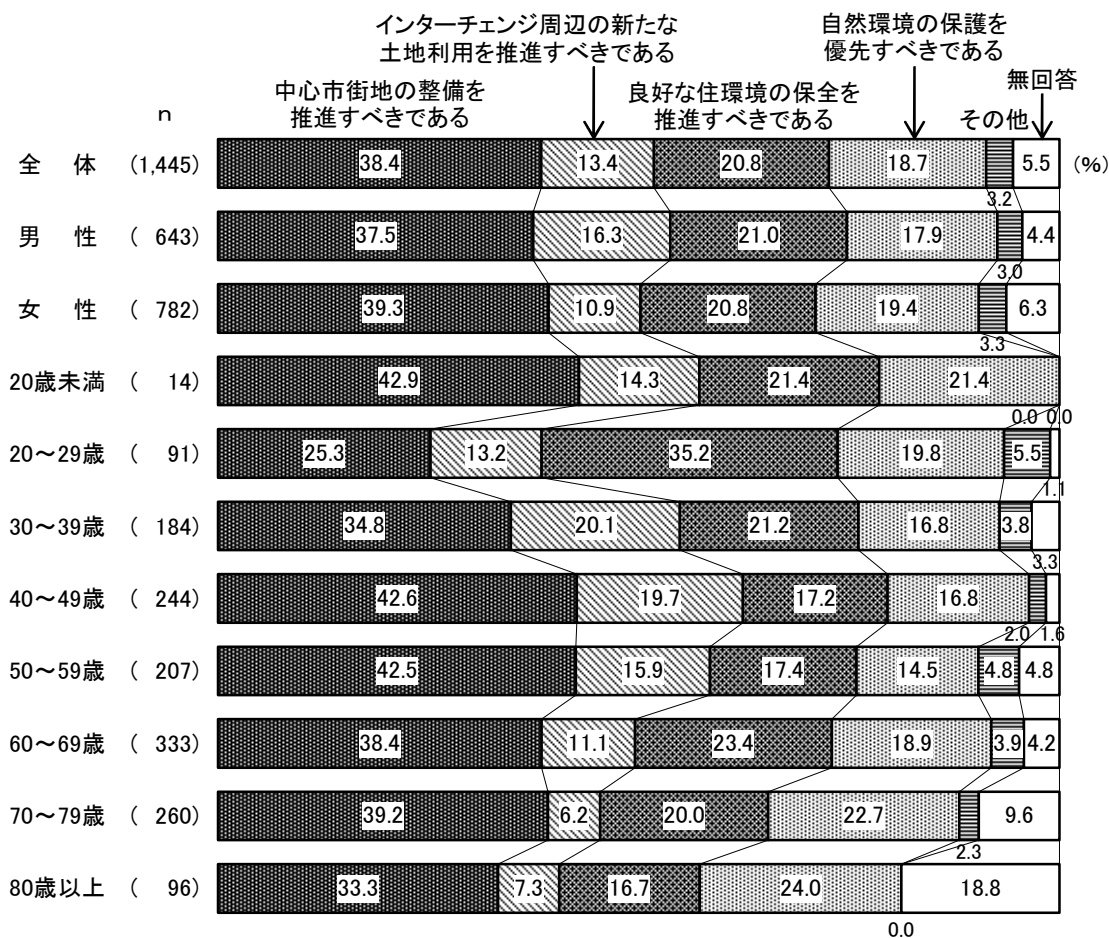


【属性別】

性別で見ると、男性では「インターチェンジ周辺の新たな土地利用を推進すべきである」(16.3%)が女性(10.9%)より5.4ポイント高くなっている。

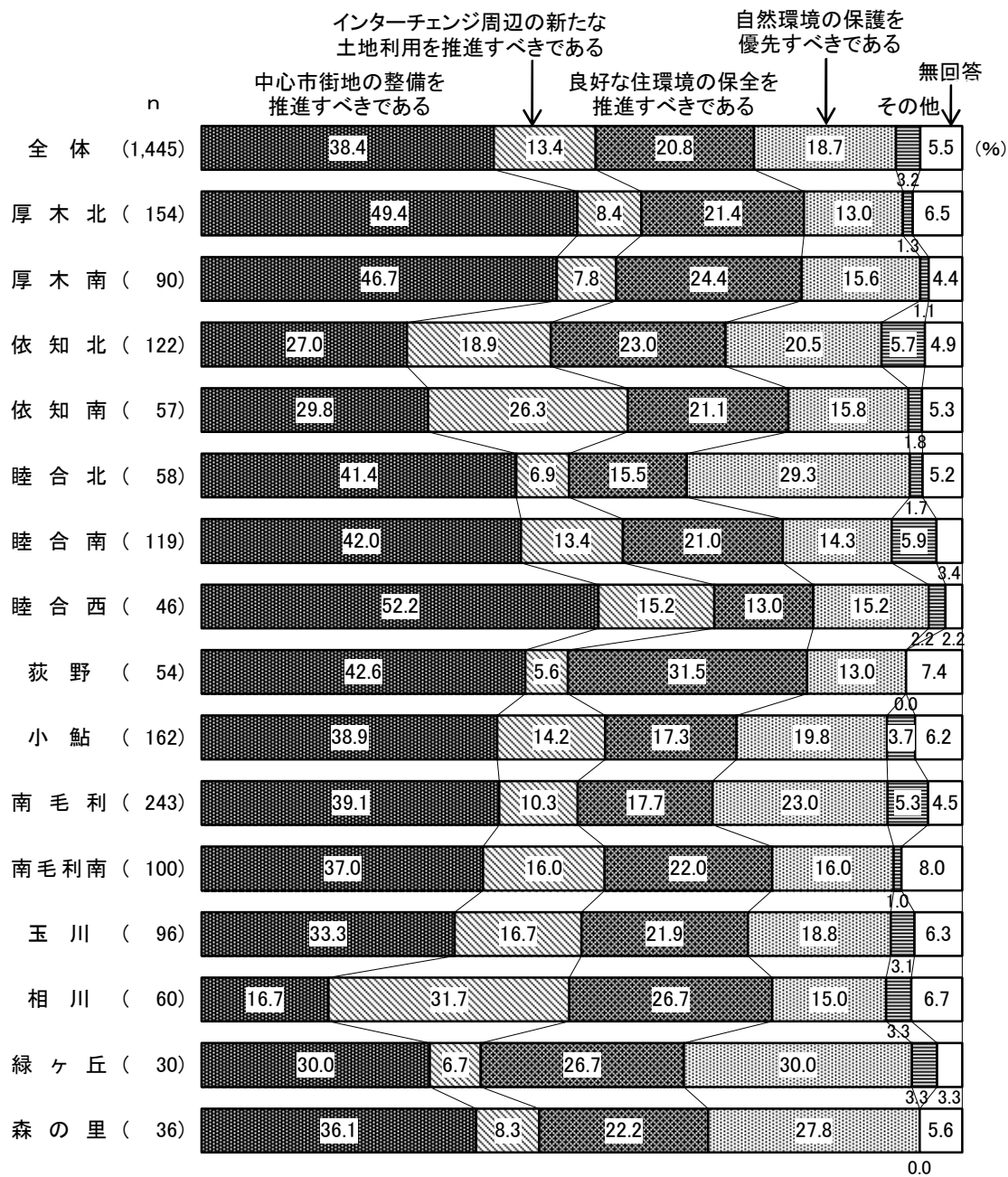
年齢別で見ると、40歳から59歳では「中心市街地の整備を推進すべきである」が4割を超えて高くなっている。20～29歳では「良好な住環境の保全を推進すべきである」(35.2%)が3割半ばと高くなっている。80歳以上では「自然環境の保護を優先すべきである」(24.0%)が2割半ばと高くなっている。

図14-10-3 市の将来の土地利用—性別、年齢別



〔居住地区別の結果〕

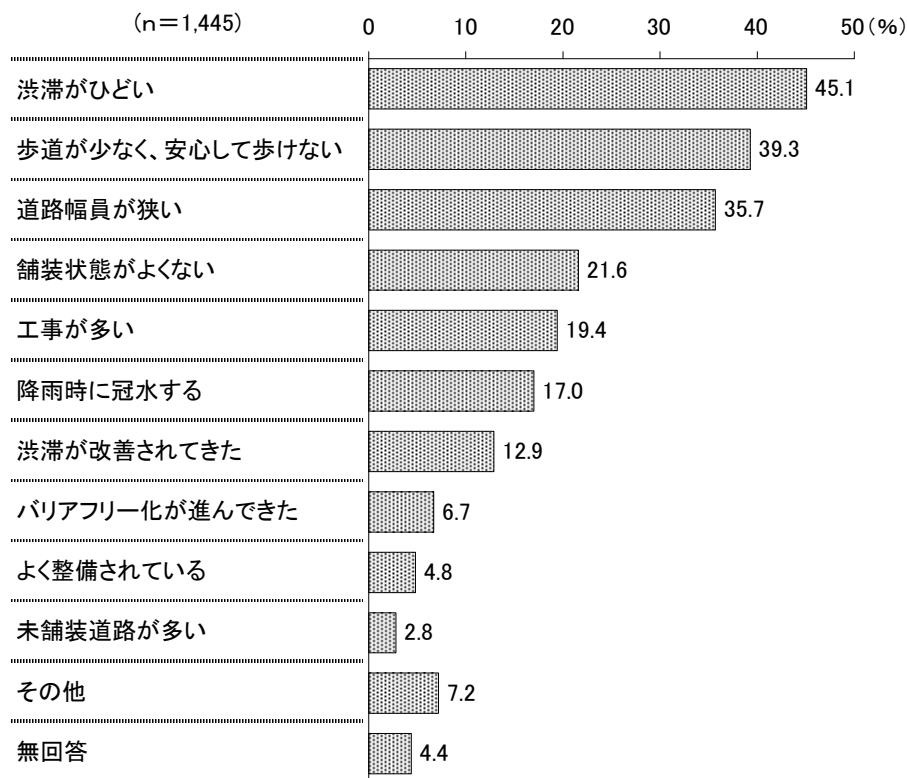
図14-10-4 市の将来の土地利用—居住地区別



(11) 厚木市内の道路の現状 (B:問31)

問. 厚木市内の道路の現状についてどう思いますか。(いくつでも選んでください)

図14-11-1 厚木市内の道路の現状



【全体】

厚木市内の道路の現状について聞いたところ、「渋滞がひどい」(45.1%)が4割半ばで最も高く、次いで「歩道が少なく、安心して歩けない」(39.3%)、「道路幅員が狭い」(35.7%)、「舗装状態がよくない」(21.6%)、「工事が多い」(19.4%)となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、「歩道が少なく、安心して歩けない」(39.3%)は前回調査(31.6%)より7.7ポイント増加し、「舗装状態がよくない」(21.6%)は前回調査(17.5%)より4.1ポイント増加している。一方、「渋滞が改善されてきた」(12.9%)は前回調査(17.6%)より4.7ポイント減少し、「バリアフリー化が進んできた」(6.7%)は前回調査(10.0%)より3.3ポイント減少している。

表14-11-1 厚木市内の道路の現状—経年変化

調査年	n	(%)											
		渋滞がひどい	歩道が少なく、安心して歩けない	道路幅員が狭い	舗装状態がよくない	工事が多い	降雨時に冠水する	渋滞が改善されてきた	たバリアフリー化が進んできた	よく整備されている	未舗装道路が多い	その他	無回答
平成27年度	1,445	45.1	39.3	35.7	21.6	19.4	17.0	12.9	6.7	4.8	2.8	7.2	4.4
平成25年度	1,284	43.0	31.6	33.2	17.5	19.9	14.5	17.6	10.0	6.5	3.7	6.5	6.9
平成23年度	814	44.7	32.6	32.9	17.8	28.5	16.2	18.6	16.2	4.9	2.6	6.0	5.3
平成21年度	1,610	51.1	35.2	31.3	18.6	29.0	18.4	14.7	15.9	5.3	3.7	5.0	5.3
平成19年度	1,506	52.7	31.5	33.9	17.9	32.0	19.7	12.9	17.3	4.3	3.7	4.4	5.8

(注)「降雨時に冠水する」は、平成25年調査以前は「側溝が整備されていないため、降雨時に冠水する」となっていた。

【属性別】

性別で見ると、男性では「渋滞がひどい」(48.8%)が女性(41.6%)より7.2ポイント高くなっている。一方、女性では「工事が多い」(22.4%)が男性(15.9%)より6.5ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、20歳から39歳では「渋滞がひどい」が5割を超えて高くなっている。80歳以上では「歩道が少なく、安心して歩けない」(46.9%)が5割近くと高く、「舗装状態がよくない」と「工事が多い」(ともに26.0%)がともに3割近くと高くなっている。70～79歳では「道路幅員が狭い」(41.2%)が4割を超えて高くなっている。

表14-11-2 厚木市内の道路の現状—性別、年齢別

		n	渋滞がひどい	歩道が少なく、安心して歩けない	道路幅員が狭い	舗装状態がよくない	工事が多い	降雨時に冠水する	渋滞が改善されてきた	バリアフリー化が進んできた	よく整備されている	未舗装道路が多い	その他	無回答
全 体		1,445	45.1	39.3	35.7	21.6	19.4	17.0	12.9	6.7	4.8	2.8	7.2	4.4
性別	男 性	643	48.8	39.3	37.0	23.6	15.9	15.2	15.4	7.0	6.4	1.9	6.5	3.3
	女 性	782	41.6	39.5	34.7	20.1	22.4	18.7	11.0	6.5	3.6	3.6	7.5	5.2
年齢別	20歳未満	14	21.4	35.7	57.1	35.7	7.1	7.1	-	-	14.3	7.1	7.1	7.1
	20～29歳	91	50.5	34.1	29.7	20.9	19.8	11.0	3.3	2.2	8.8	7.7	11.0	4.4
	30～39歳	184	52.2	37.0	29.3	21.2	19.0	13.6	6.5	2.7	4.9	6.0	10.3	2.7
	40～49歳	244	45.1	44.3	37.7	20.9	18.4	20.5	13.9	4.1	4.9	2.0	7.4	0.8
	50～59歳	207	42.0	36.7	35.3	21.3	19.8	16.9	15.5	6.8	4.8	1.4	9.7	2.4
	60～69歳	333	41.7	36.0	34.5	23.4	17.4	21.3	16.2	9.6	5.7	1.8	7.8	4.8
	70～79歳	260	46.2	42.3	41.2	18.5	20.8	16.2	15.4	9.6	2.7	2.3	2.7	7.3
	80歳以上	96	41.7	46.9	34.4	26.0	26.0	12.5	10.4	8.3	2.1	1.0	1.0	11.5

〔居住地区別の結果〕

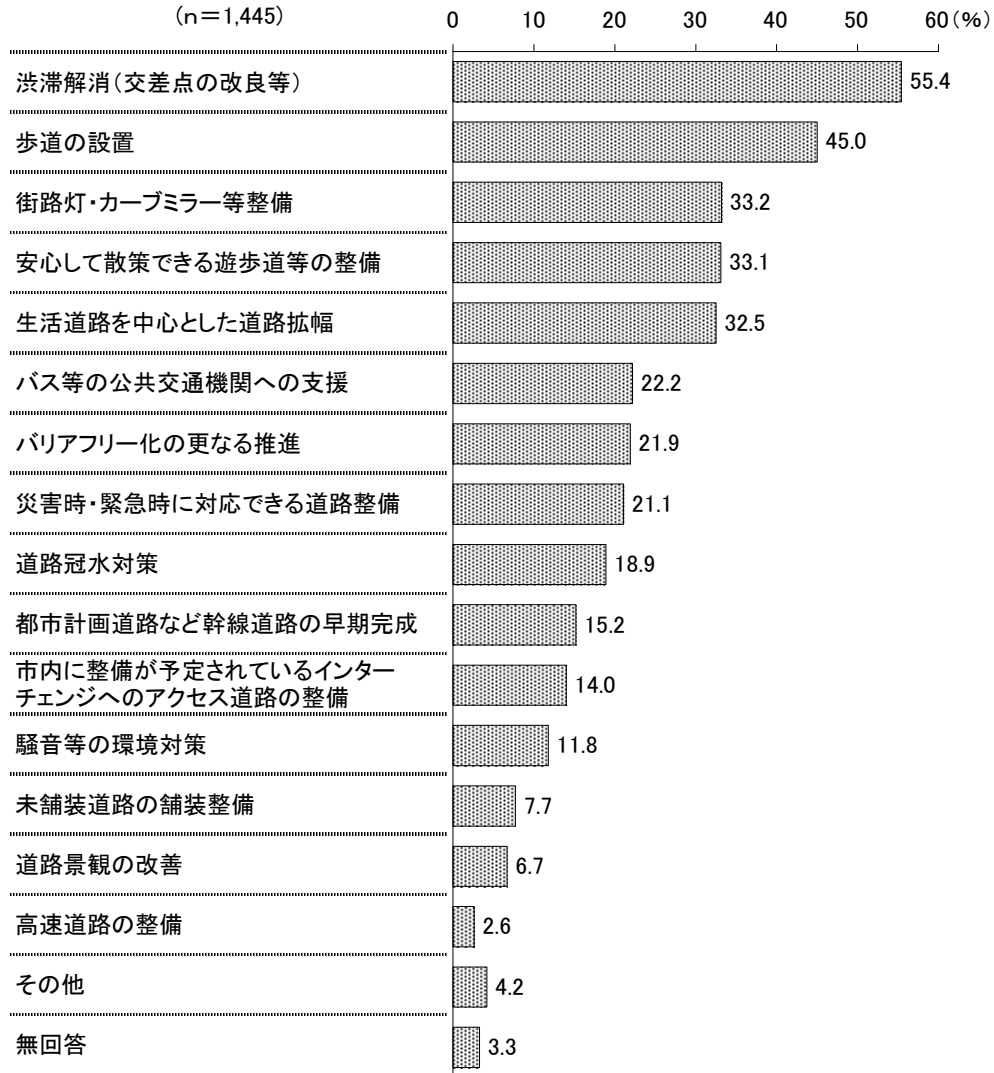
表14-11-3 厚木市内の道路の現状－居住地区別

		(%)												
	n	渋滞がひどい	歩道が少なく、安心して歩けない	道路幅員が狭い	舗装状態がよくない	工事が多い	降雨時に冠水する	渋滞が改善されてきた	バリアフリー化が進んできた	よく整備されている	未舗装道路が多い	その他	無回答	
全 体	1,445	45.1	39.3	35.7	21.6	19.4	17.0	12.9	6.7	4.8	2.8	7.2	4.4	
居 住 地 区 別	厚 木 北	154	40.9	34.4	28.6	16.2	14.3	20.8	8.4	8.4	5.8	1.3	9.1	7.8
	厚 木 南	90	37.8	35.6	34.4	18.9	18.9	25.6	6.7	4.4	13.3	-	5.6	3.3
	依 知 北	122	40.2	37.7	44.3	14.8	16.4	13.9	22.1	2.5	5.7	3.3	3.3	4.1
	依 知 南	57	45.6	21.1	29.8	14.0	10.5	10.5	33.3	15.8	7.0	3.5	7.0	-
	睦 合 北	58	48.3	44.8	37.9	31.0	19.0	20.7	13.8	6.9	5.2	6.9	8.6	3.4
	睦 合 南	119	32.8	53.8	48.7	21.0	18.5	14.3	12.6	8.4	0.8	1.7	8.4	1.7
	睦 合 西	46	37.0	39.1	19.6	28.3	17.4	15.2	21.7	13.0	10.9	-	6.5	4.3
	荻 野	54	35.2	48.1	50.0	24.1	14.8	11.1	18.5	9.3	5.6	3.7	7.4	1.9
	小 鮎	162	45.1	42.0	37.7	27.8	27.2	15.4	13.6	3.7	2.5	5.6	6.8	6.2
	南 毛 利	243	53.5	37.9	28.8	22.6	19.8	18.1	9.5	7.0	5.8	4.1	8.2	4.1
	南毛利南	100	49.0	34.0	38.0	28.0	20.0	21.0	11.0	6.0	2.0	1.0	8.0	5.0
	玉 川	96	58.3	40.6	31.3	19.8	25.0	14.6	8.3	5.2	4.2	3.1	9.4	4.2
	相 川	60	40.0	51.7	48.3	26.7	20.0	26.7	13.3	5.0	-	-	3.3	-
	緑ヶ丘	30	63.3	33.3	30.0	3.3	16.7	10.0	6.7	6.7	-	-	3.3	6.7
森 の 里	36	44.4	27.8	27.8	22.2	25.0	5.6	8.3	8.3	2.8	-	5.6	11.1	

(12) 道路整備に望むもの (B:問32)

問. 厚木市の道路整備に何を望みますか。(いくつでも選んでください)

図14-12-1 道路整備に望むもの



【全体】

厚木市の道路整備に何を望むか聴いたところ、「渋滞解消(交差点の改良等)」(55.4%)が5割半ばで最も高く、次いで「歩道の設置」(45.0%)、「街路灯・カーブミラー等整備」(33.2%)、「安心して散策できる遊歩道等の整備」(33.1%)、「生活道路を中心とした道路拡幅」(32.5%)となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、上位3項目は前回調査と同じ順位となっており、「歩道の設置」(45.0%)は前回調査(39.3%)より5.7ポイント増加している。

表14-12-1 道路整備に望むもの一経年変化(上位8項目)

順位	平成27年度 (n=1,445)		平成25年度 (n=1,284)		平成23年度 (n=814)		平成21年度 (n=1,610)		平成19年度 (n=1,506)	
	項目	(%)	項目	(%)	項目	(%)	項目	(%)	項目	(%)
1	渋滞解消(交差点の改良等)	55.4	渋滞解消(交差点の改良等)	55.9	渋滞解消(交差点の改良等)	54.9	渋滞解消(交差点の改良等)	59.3	渋滞解消(交差点の改良等)	56.6
2	歩道の設置	45.0	歩道の設置	39.3	街路灯・カーブミラー等整備	36.7	街路灯・カーブミラー等整備	39.6	街路灯・カーブミラー等整備	39.4
3	街路灯・カーブミラー等整備	33.2	街路灯・カーブミラー等整備	35.0	歩道の設置	34.3	歩道の設置	35.7	安心して散策できる遊歩道等の整備	37.6
4	安心して散策できる遊歩道等の整備	33.1	生活道路を中心とした道路拡幅	31.5	災害時・緊急時に対応できる道路整備	32.6	安心して散策できる遊歩道等の整備	34.4	バス等の公共交通機関への支援	35.0
5	生活道路を中心とした道路拡幅	32.5	安心して散策できる遊歩道等の整備	31.4	安心して散策できる遊歩道等の整備	32.3	バス等の公共交通機関への支援	30.7	歩道の設置	31.1
6	バス等の公共交通機関への支援	22.2	災害時・緊急時に対応できる道路整備	29.7	バス等の公共交通機関への支援	28.4	バリアフリー化の更なる推進	27.9	災害時・緊急時に対応できる道路整備	29.4
7	バリアフリー化の更なる推進	21.9	バス等の公共交通機関への支援	25.9	生活道路を中心とした道路拡幅	26.9	生活道路を中心とした道路拡幅	27.5	生活道路を中心とした道路拡幅	27.4
8	災害時・緊急時に対応できる道路整備	21.1	バリアフリー化の更なる推進	22.0	バリアフリー化の更なる推進	25.4	災害時・緊急時に対応できる道路整備	26.6	バリアフリー化の更なる推進	26.3

(注) 平成27年度調査では、「道路冠水対策」を追加している。

【属性別】

性別で見ると、男性では「都市計画道路など幹線道路の早期完成」(19.4%)が女性(11.5%)より7.9ポイント、「市内に整備が予定されているインターチェンジへのアクセス道路の整備」(17.7%)が女性(10.9%)より6.8ポイント高くなっている。一方、女性では「街路灯・カーブミラー等整備」(37.0%)が男性(29.2%)より7.8ポイント、「道路冠水対策」(21.2%)が男性(16.2%)より5.0ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、20歳から49歳では「渋滞解消(交差点の改良等)」が6割台と高くなっている。40～49歳では「歩道の設置」(54.5%)が5割半ばと高くなっている。70～79歳では「安心して散策できる遊歩道等の整備」(41.2%)が4割を超えて高くなっている。

表14-12-2 道路整備に望むもの一性別、年齢別

(%)

		n	渋滞解消 (交差点の改良等)	歩道の設置	街路灯・カーブミラー等整備	安心して散策できる遊歩道等の整備	生活道路を中心とした道路拡幅	バス等の公共交通機関への支援	バリアフリー化の更なる推進	災害時・緊急時に対応できる道路整備	道路冠水対策	都市計画道路など幹線道路の早期完成	市内に整備が予定されているインターチェンジへのアクセス道路の整備	騒音等の環境対策	未舗装道路の舗装整備	道路景観の改善	高速道路の整備	その他	無回答
全	体	1,445	55.4	45.0	33.2	33.1	32.5	22.2	21.9	21.1	18.9	15.2	14.0	11.8	7.7	6.7	2.6	4.2	3.3
性別	男性	643	57.9	42.8	29.2	32.5	35.8	23.6	19.3	18.7	16.2	19.4	17.7	12.1	7.3	8.1	3.7	4.0	2.8
	女性	782	53.8	47.1	37.0	33.9	29.9	21.1	23.7	23.3	21.2	11.5	10.9	11.8	8.2	5.6	1.8	4.2	3.7
年齢別	20歳未満	14	21.4	21.4	42.9	28.6	14.3	28.6	21.4	21.4	14.3	14.3	21.4	14.3	-	7.1	7.1	7.1	-
	20～29歳	91	65.9	40.7	38.5	25.3	19.8	24.2	11.0	12.1	12.1	11.0	8.8	18.7	8.8	8.8	5.5	5.5	3.3
	30～39歳	184	65.2	49.5	34.8	25.0	30.4	21.7	13.0	12.0	13.6	20.7	21.2	15.8	10.3	6.5	5.4	5.4	1.6
	40～49歳	244	63.1	54.5	36.1	30.3	38.5	20.9	20.1	20.5	20.9	13.9	15.2	12.7	7.4	5.3	3.3	4.5	0.8
	50～59歳	207	58.0	46.4	29.0	31.4	32.9	25.6	26.1	23.2	24.2	13.0	12.1	12.1	8.7	9.2	1.0	3.4	1.9
	60～69歳	333	49.8	39.6	34.8	35.7	29.1	19.5	22.2	23.4	20.7	12.9	12.6	10.5	6.9	6.3	2.1	4.5	3.0
	70～79歳	260	49.2	41.2	29.2	41.2	36.5	24.6	28.5	26.5	17.3	19.2	12.3	9.2	5.8	7.7	0.8	4.2	5.0
	80歳以上	96	42.7	45.8	34.4	38.5	35.4	18.8	26.0	21.9	18.8	11.5	12.5	7.3	10.4	2.1	3.1	-	12.5

〔居住地区別の結果〕

表14-12-3 道路整備に望むもの—居住地区別

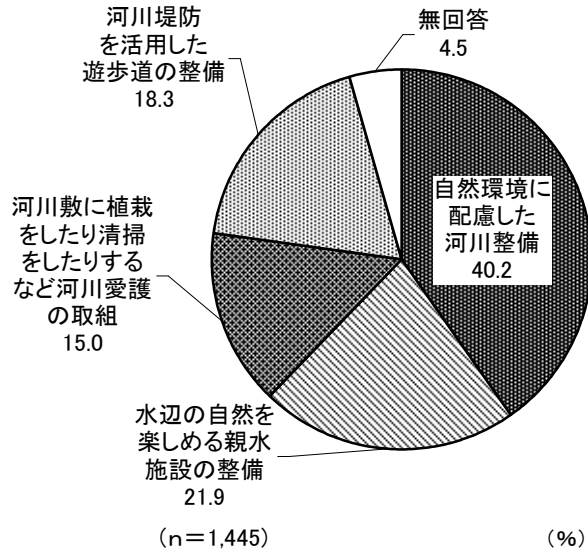
		(%)																	
		n	渋滞解消（交差点の改良等）	歩道の設置	街路灯・カーブミラー等整備	安心して散策できる遊歩道等の整備	生活道路を中心とした道路拡幅	バス等の公共交通機関への支援	バリアフリー化の更なる推進	災害時・緊急時に対応できる道路整備	道路冠水対策	都市計画道路など幹線道路の早期完成	市内に整備が予定されているインターチェンジへのアクセス道路の整備	騒音等の環境対策	未舗装道路の舗装整備	道路景観の改善	高速道路の整備	その他	無回答
全 体		1,445	55.4	45.0	33.2	33.1	32.5	22.2	21.9	21.1	18.9	15.2	14.0	11.8	7.7	6.7	2.6	4.2	3.3
居 住 地 区 別	厚 木 北	154	45.5	38.3	20.1	42.9	26.0	11.0	29.9	18.8	23.4	6.5	12.3	18.8	5.2	9.1	2.6	4.5	3.9
	厚 木 南	90	48.9	42.2	23.3	24.4	20.0	13.3	15.6	20.0	27.8	12.2	8.9	12.2	4.4	6.7	-	5.6	4.4
	依 知 北	122	50.0	41.0	36.1	27.0	41.0	26.2	16.4	23.0	14.8	13.9	13.1	17.2	7.4	9.0	1.6	2.5	6.6
	依 知 南	57	57.9	31.6	33.3	35.1	38.6	17.5	14.0	19.3	10.5	19.3	14.0	14.0	3.5	5.3	1.8	-	1.8
	睦 合 北	58	58.6	51.7	44.8	43.1	44.8	20.7	31.0	20.7	15.5	25.9	17.2	12.1	13.8	8.6	3.4	5.2	5.2
	睦 合 南	119	46.2	55.5	37.0	39.5	34.5	14.3	24.4	19.3	16.8	12.6	8.4	11.8	8.4	5.0	0.8	5.9	1.7
	睦 合 西	46	52.2	45.7	37.0	41.3	30.4	23.9	21.7	19.6	15.2	15.2	13.0	8.7	4.3	6.5	4.3	6.5	2.2
	荻 野	54	64.8	51.9	31.5	46.3	44.4	25.9	20.4	22.2	11.1	25.9	22.2	11.1	11.1	7.4	1.9	3.7	1.9
	小 鮎	162	63.0	41.4	39.5	22.8	32.1	26.5	14.8	24.7	17.3	21.6	15.4	6.8	9.9	6.8	3.7	2.5	3.1
	南 毛 利	243	60.9	51.9	35.0	31.3	28.8	24.3	21.0	15.6	19.3	14.4	11.9	11.1	9.1	5.8	3.3	4.5	2.1
	南毛利南	100	54.0	36.0	33.0	36.0	36.0	25.0	17.0	28.0	27.0	10.0	18.0	14.0	11.0	6.0	5.0	2.0	3.0
	玉 川	96	63.5	50.0	37.5	26.0	39.6	26.0	25.0	25.0	18.8	17.7	21.9	6.3	7.3	7.3	5.2	6.3	3.1
	相 川	60	48.3	51.7	38.3	35.0	30.0	30.0	38.3	26.7	28.3	13.3	15.0	11.7	6.7	5.0	-	1.7	1.7
	緑ヶ丘	30	70.0	33.3	20.0	33.3	20.0	30.0	23.3	13.3	10.0	13.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	13.3	3.3
森の里	36	61.1	38.9	27.8	30.6	25.0	36.1	30.6	25.0	8.3	16.7	19.4	11.1	2.8	5.6	-	5.6	5.6	

(13) 河川環境の整備に望むこと (B:問33)

問. 厚木市内の河川整備を進めるに当たり、あなたが望むことは何ですか。

(1つだけ選んでください)

図14-13-1 河川環境の整備に望むこと



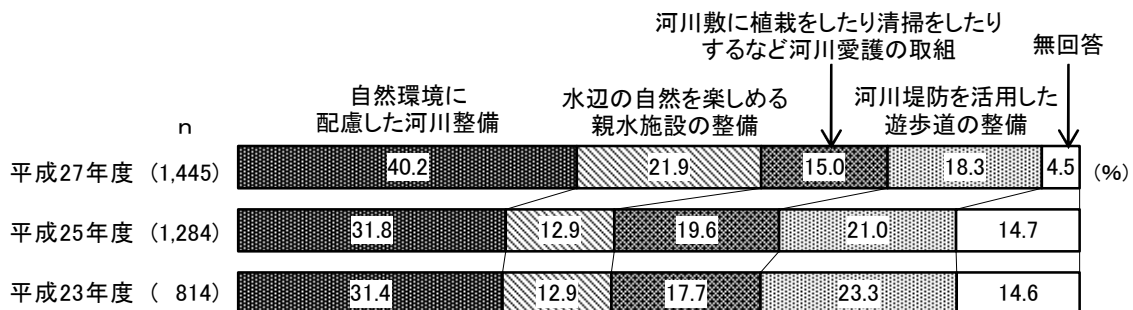
【全体】

厚木市内の河川整備を進めるに当たり望むことを聞いたところ、「自然環境に配慮した河川整備」(40.2%)が約4割で最も高く、次いで「水辺の自然を楽しむ親水施設の整備」(21.9%)、「河川堤防を活用した遊歩道の整備」(18.3%)、「河川敷に植栽をしたり清掃をしたりするなど河川愛護の取組」(15.0%)となっている。

【経年変化】

平成27年度調査では、質問が過去と異なっているため、参考に記載する。

図14-13-2 河川環境の整備に望むこと—経年変化



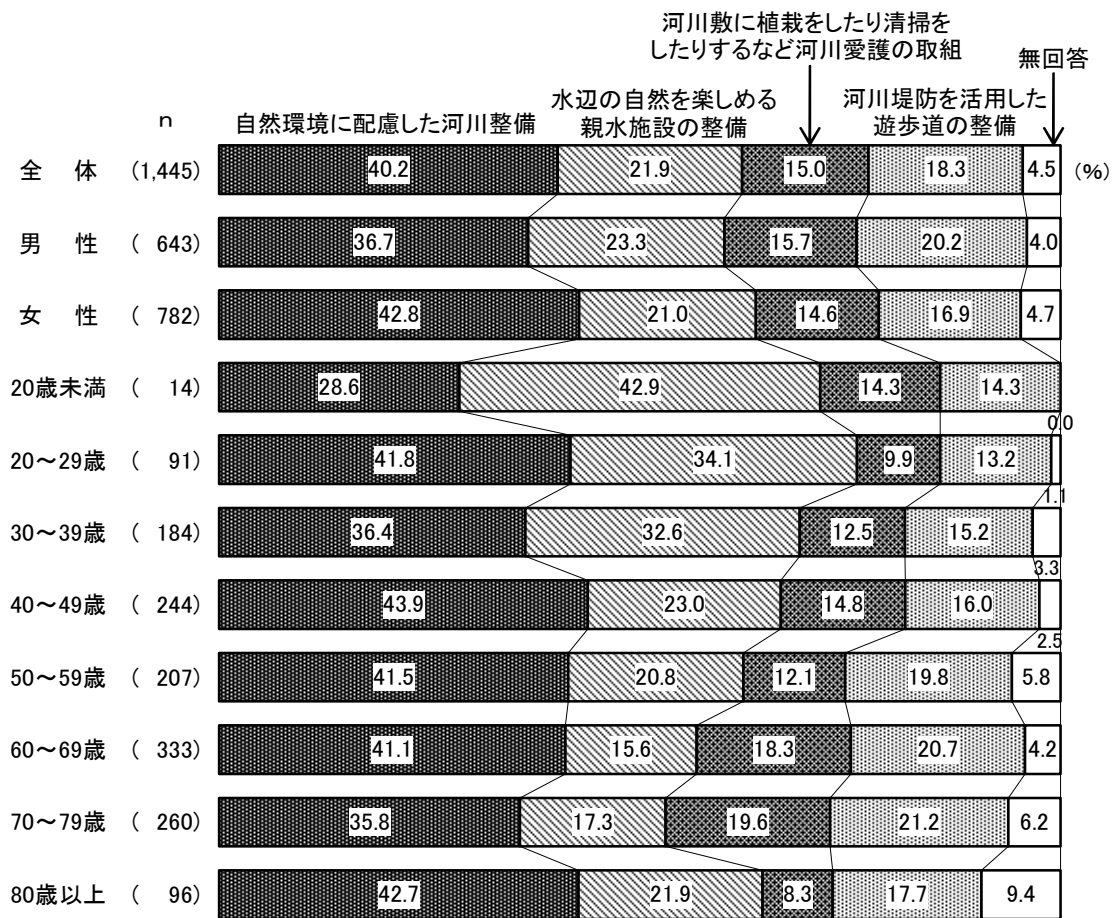
(注) 平成25年度調査までは「河川環境の整備がされていると感じることは何ですか」としていた。

【属性別】

性別で見ると、女性では「自然環境に配慮した河川整備」(42.8%)が男性(36.7%)より6.1ポイント高くなっている。一方、男性では「河川堤防を活用した遊歩道の整備」(20.2%)が女性(16.9%)より3.3ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、20～29歳と40歳から69歳で「自然環境に配慮した河川整備」が4割台と高くなっている。

図14-13-3 河川環境の整備に望むこと—性別、年齢別



〔居住地区別の結果〕

図14-13-4 河川環境の整備に望むこと—居住地区別

